

令和 2 年 度

教育委員会定例会（7月）議事録

四條畷市教育委員会事務局

1 開催日時・場所

令和2年7月25日(土) 10時00分から15時22分
四條畷市役所 本館3階 委員会室

2 出席委員

教 育 長	植田 篤司
教育長職務代理者	山本 博資
委 員	吉田 知子
委 員	竹内 千佳夫
委 員	佃 千春

3 事務局出席者

教 育 部 長	上井 大介	教育部次長兼学校教育 課長兼教育センター長	木村 実
教育部次長兼青少年育 成 課 長 兼 主 任	阪本 武郎	教 育 部 次 長	賀藤 久道
教 育 総 務 課 長	板谷 ひと美		

4 その他出席者 教科書選定委員会委員長 堀 俊治

5 議事録作成者 教 育 総 務 課 井上 裕可

6 付議案件

議題 第22号	令和3年度使用四條畷市立学校教科用図書の採択について
報告 第16号	四條畷市立なわてふれあい教室条例施行規則の一部を改正する規則の 制定について
報告 第17号	四條畷市青少年指導員の委嘱(追加)について

<p>植田教育長</p>	<p>皆様、おはようございます。 ただいまから7月の教育委員会定例会を開催します。</p> <p>四條畷市教育委員会会議規則第5条第2項の規定に基づき、会議録署名者の指名を行います。 本日の議事録署名者は、佃委員にお願いいたします。</p> <p>それでは、議事に入ります。</p> <p>議案第22号 令和3年度使用四條畷市立学校教科用図書の採択についてを議題といたします。 事務局から本件の内容説明を願います。</p>
<p>木村教育部次長兼 学校教育課長兼教育センター長</p>	<p>議案第22号 令和3年度使用四條畷市立学校教科用図書の採択についてでございます。</p> <p>令和3年度使用四條畷市立中学校教科用図書について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号及び義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条及び14条の規定により採択を求めるものでございます。</p> <p>提案理由といたしまして、令和3年度に四條畷市立中学校で使用する教科用図書の採択を求めため、本案を提案いたしました。</p> <p>それではまず、お配りしております資料に沿い説明させていただきます。まず1点めが、令和3年度使用教科書採択事務の経過報告でございます。教科書採択に関しまして、教育委員会定例会及び選定委員会、調査員会、見本本の移動展示及び教科書センターにおける展示の現在までの日程等をお示しさせていただいております。</p> <p>2点めは、令和3年度使用四條畷市立中学校教科用図書の採択に係る答申でございます。</p> <p>本日は、この答申をもとに、本市公立中学校で来年度から使用する教科用図書について、どの発行者の教科書を採択するか決定していただきますよう、ご審議をよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、ここからは、諮問した選定委員会の委員長であります、四條畷西中学校 堀校長先生よりご説明させていただきます。</p>
<p>堀選定委員会委員長</p>	<p>四條畷市立学校教科用図書選定委員会委員長の四條畷西中学校校長の堀と申します。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、まずは、答申の趣旨についてご説明いたします。 四條畷市立学校教科用図書選定委員会（以下、選定委員会という）は、令</p>

<p>(堀選定委員会委員長)</p>	<p>和2年4月22日に四條畷市教育委員会から令和3年度使用四條畷市立中学校教科用図書採択に係る諮問を受けました。</p> <p>当選定委員会は、令和3年度に四條畷市立中学校で使用する教科書について、調査員会の設置を決定し、各小中学校長より推薦された各種目3名の調査員に教科書見本の調査、研究を依頼しました。</p> <p>調査員会は、班長を中心に、約1ヶ月間をかけて調査研究を深め、調査事項報告書を作成されました。</p> <p>その結果については、選定委員長及び委員と事務局が班長より調査事項報告書を受け取り、調査研究の経過を聞き取りました。</p> <p>また、市内の全中学校において、全ての教科書見本が移動展示され、学校ごとにまとめられた学校意見書についても参考とすることにしました。</p> <p>当選定委員会は、教科用図書見本の閲覧と調査研究を行い、大阪府教育委員会の令和3年度使用教科用図書選定資料及び各教科書発行者の教科書編修趣意書の研究を行いました。</p> <p>このような調査研究や調査事項報告書、各種資料等を総合的に判断し、その特徴をまとめ、選定委員会として本市生徒が令和3年度に使用するにふさわしい教科書について、別紙のとおり答申いたします。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>今、説明のありました答申の趣旨についてご質問はございませんか</p> <p>(「なし」の声)</p>
<p>植田教育長</p>	<p>なしと認めますので、次に進めさせていただきます。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>それでは、選定委員会の調査報告を受けながら審議を行ってまいります、あらかじめここで採択の方法についてお諮りいたします。</p> <p>まずは令和3年度使用四條畷市立中学校教科用図書について、国語から道徳までの16種目でございますが、国語より順に、1種目ずつ報告、審議、採択と進めるということではいかがでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>
<p>植田教育長</p>	<p>異議なしとお声がありましたので、そのように進めさせていただきます。</p> <p>また、16種目が終了した後で、私から採択についての最終確認をさせていただきます。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>それでは、審議に入りますが、以下種目ごとに審議、採択を進めていく順</p>

(植田教育長)	<p>番は次のとおりでございます。</p> <p>まず、国語、書写、社会（地理的分野）、社会（歴史的分野）、社会（公民的分野）、地図、数学、理科、音楽（一般）、音楽（器楽合奏）、美術、保健体育、技術・家庭（技術分野）、技術・家庭（家庭分野）、英語、道德 の順でございます。</p> <p>それでは、審議に入ります。</p> <p>堀委員長、国語から報告をお願いします。</p>
堀選定委員会委員長	<p>それでは答申の2ページをご覧ください。</p> <p>国語は4社から教科書が出版されております。</p> <p>どの教科書も、国語の目標「言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。」をふまえて作成されておりました。</p> <p>詳細は紙面の方をご覧ください。</p> <p>以上でございます。</p>
植田教育長	<p>それぞれの教科書を読まれてのご意見をお聞かせ下さい。</p>
山本教育長職務代理者	<p>選定委員会からの答申がありましたように、今後につきましては、言語活動の充実、それから三領域のバランスというのが、決める際の大きなポイントかなと感じております。</p> <p>4社を読ませていただきまして、東京書籍は豊かな学びということを編成方針に掲げられ、特に言葉の力ということで、いろいろな教材に取り組んでおられると思います。</p> <p>三省堂も同様に、言葉で学び、言葉で生きるということと編集方針のなかで統一性があったと感じます。</p> <p>教育出版につきましては、言葉と関わる力を育てるということで、一番感じたのは、日本と世界の課題が明確になっていること、SDGsなどの教材の目標の関連があったと思います。特に、言語活動ということを重視する観点から、AIの問題であるとか、あるいは学校図書館関係でビブリオバトルをもってくるとか、そういうところの工夫があったと思っています。</p> <p>光村図書については、全体的に読みやすい文面だと思っています。</p> <p>確かな国語力をつけるという観点では、よく考えられていると思います。</p>
竹内委員	<p>東京書籍ですが、学習の扉とか、巻末についている基礎編がかなり詳しく説明されているので、生徒が自主的に学習できるよう工夫されていると感じました。</p> <p>三省堂ですが、学校意見書にもありましたが、単元構成については学びの</p>

<p>(竹内委員)</p>	<p>道しるべというところで生徒が内容を整理し、自分の考えを深め、学べ、振り返りができるようになっているので生徒が学習しやすいのではないかと思います。もう1点、読み方を学ぼうのコーナーでは、思考力、判断力、表現力を伸ばす方法が示されており、また、他の学習や社会生活にも応用できるので、より効果的だと思いました。</p> <p>また教育出版では、巻末の資料が豊富で、特に百人一首が全て掲載されており、生徒が興味をもって学習できるのではと思いました。</p> <p>光村図書ですが、文学作品が他社に比べて比較的多く取り入れられていると感じました。また、文章に見合うような表や図、イラストなどの資料が効果的に使われており、単元ごとの扉のページには季節に合わせたカラー写真などもあって、学習に効果的だと感じました。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>東京書籍は1年生では字が大きめ、2年生になると少し小さくなるという発達段階に関しての配慮がされていると思いました。</p> <p>キャラクター付けもされていて、子どもたちが学びやすい内容になっていると思いました。</p> <p>三省堂は、巻末の資料編の内容がまとまっていて、とてもおもしろいなどという印象を受けました。</p> <p>教育出版ですが、人権学習を豊富に取り入れられていると感じました。</p> <p>光村図書は、聞くこと、話すことの指導にとっても力をいれていると感じ、私のなかでは印象がよかったです。</p>
<p>佃委員</p>	<p>国語ですので、3つの聞く、書く、読むという領域がどの会社もバランスよく丁寧に扱われていたと思います。</p> <p>東京書籍ですが、各教材の言葉の力というところで身につけるべき資質・能力をはっきりと明記されていて振り返りがしやすいのではないかと思います。</p> <p>三省堂も同じく、つけたい力を確かめようとして確認しながら授業に臨めるのが良いと思いました。</p> <p>教育出版は、先ほども委員がおっしゃいましたが、3学年とも持続可能な未来をつくるためにということで、SDGsと関連させた教材を扱っているのが好感がもてました。</p> <p>光村図書に関しては、見通しを持つ、捉える、読む、深める、教える、考えを持つ、振り返るという学習の流れを見開きで確認できる工夫がされているのが印象に残りました。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>全4社についてそれぞれ検討をいただきましたが、より本市の子どもたちにふさわしい教科書という観点で、ぜひご意見をいただきたいと思います。</p>

<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>教育出版は現在の教材を取り扱っている部分がすごく多かったなと思います。</p> <p>具体的には、ロバートキャンベルさんを用いたり、小川洋子さん、坂本龍一さん、今の時代にいろいろな問題点を出しておられる人を扱っておられるのが新鮮に思いました。</p> <p>あと、先ほど竹内委員がふれられましたが、学びの資料が多いのが教科書のページ数につながっていると思います。</p> <p>それから、光村図書につきましては、閲覧された方のアンケートで一番使いやすいと生徒がわかりやすいのではないかという感想がありましたが、私も同様に、本市の子どもたちの言語能力をつけていくために適切なバランスではないかと思っています。</p> <p>将棋の羽生さん、AIの松原さんを取り上げたりするのは現代的ですし、他とは違って非常にバランスがいいかなと思っています。</p>
<p>佃委員</p>	<p>職務代理がおっしゃったように、三省堂の資料編はとても充実して分量も多いですし、先生方のヒントになるような部分もあり、教えやすいのではないかと思いました。</p> <p>東京書籍ですが、巻末の基礎編の学びを支える言葉の力のところで論理的な言葉の力、文学的な言葉の力、対話的な言葉の力を発展的に学ばすし、それぞれの学年で分類や比較、図表で整理したり、また、多面的に捉え、論理的に読む技能を習得できるというのが大変いいと思いました。</p> <p>同様に、光村図書の方が思考のレッスンのページで考えが深まるような工夫が自然と身に付くよう、イラストで例示されていますし、思考の地図というところでは思考のツールを色々と示す中で情報の整理の仕方を学べ、ブレインストーミングの基礎になるのではないかと思いました。</p>
<p>竹内委員</p>	<p>三省堂ですが、各学年の最初にグループディスカッションというコーナーを設けているので、話し合いの方法を学びながら対話的な学習が進められるように工夫されていると強く感じました。</p> <p>また、読書活動については読書の広場、小さな図書館や教材ごとの私の本棚で作者や教材のテーマに関連した本がいくつか紹介されているので、親しみやすいような設定になっているかと思えます。</p> <p>光村図書については、本の世界を広げようというコーナーがありまして、テーマ別に本を紹介したり、教材ごとに広がる読書というタイトルで本を紹介するなど、読書活動に効果的な内容になっていると感じました。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>光村図書ですが、1年生では声を出して相手に届けるという内容が重点的になっており、中学生1年生が自分を表現するのに良い題材だと思いました。</p> <p>先生方の学校意見書の中にも、見通しを設けることで1年間の目安がわか</p>

(吉田委員)	<p>りやすいということも書いてありました。本のなかの中学生というところも取り上げてあって、子どもたちの考え方を確立させるためには、いい題材が揃っているのではないかと思います。</p>
佃委員	<p>東京書籍について、2年生の平家物語のページがすごく面白くできていると思いました。</p> <p>源平の合戦について、石橋山から壇ノ浦までが見通せたり、歴史とも関連させて、興味深く、また美しい絵に見とれたりできると思いました。</p> <p>2年生のところでリンクマップというのがあるんですが、それも左と右でメリットとデメリットを書き出し、話し合いを深め、互いの立場を尊重しながら活動に臨める工夫があるのも素晴らしいと思いました。</p> <p>光村図書は、情報を読み取ろうというコーナーで複数の情報から必要なものを探し、読み取るというレッスンが論理的思考力の基礎だと重要視されていますが、ここを鍛えるためのページがあるのがいいと思いました。</p>
植田教育長	<p>では、皆様のご意見をまとめますと、思考、判断、表現、反復による資質能力の向上の工夫がなされていること、生徒・教員の使いやすさ、現代的テーマを扱っている点、さらには、ロジカルシンキング、ファシリテーション等、協働学習の基本と実践に有効な編集、といった観点を踏まえて、光村図書がよりふさわしいと思われませんが、光村図書を採択することと決定してよろしいですか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>
植田教育長	<p>異議なしと認め、国語の教科書は光村図書の教科書を採択することとします。</p> <p>続いて、書写についてお願いします。</p>
堀選定委員会委員長	<p>書写は4社から教科書が出版されております。</p> <p>どの教科書も文字に対する関心を深め、基礎的な内容から日常生活との関連と発展的事項まで、適切な指導内容になっております。</p> <p>詳細は紙面の方をご覧ください。</p> <p>以上でございます。</p>
植田教育長	<p>それぞれの教科書を読まれてのご意見をお聞かせ下さい。</p>
吉田委員	<p>各社とも手紙の書き方、年賀状の書き方など、実生活に活かされるような工夫がとてもよくされていると思いました。</p>

<p>(吉田委員)</p>	<p>東京書籍ですが、様々な書式の例を活用ブックにまとめてあり、それが卒業後にも使えると思いました。</p> <p>三省堂は同じく資料編が充実していると感じました。</p> <p>教育出版は、お手本が実物に近く、とてもわかりやすいと感じました。</p> <p>光村図書は、時候の挨拶の一覧がとても詳しく載っていて実用的だと感じました。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>学校意見書に東京書籍は巻末に活用ブックがあり活用しやすいとありましたが、私も同感です。</p> <p>また、伝統的な用語であるとか写真もあり、すごく工夫されていると感じました。</p> <p>三省堂については、グループ新聞や情報誌など、実生活に活かした教材が取り上げられているところ、また、行書に力を入れられており、部分別行書という一覧があるのが工夫されているところ、それらが非常に子どもたちにわかりやすいと思いました。</p> <p>教育出版は、行書がさらに特色をもって取り上げられており、国語の教材と作品が関連しているので生徒たちには使いやすいと思います。</p> <p>光村図書は、別冊の書写ブックがあり、家庭学習等で使いやすいと思います。</p>
<p>竹内委員</p>	<p>東京書籍は文字の大きさやレイアウトにゆとりがあって使いやすいと思います。</p> <p>また、身の回りの生活に使うような、日常的なものが取り上げられており、文字に対する興味、関心が持てるように工夫されていると感じました。</p> <p>三省堂は、見開きの左ページに毛筆の教材の手本があり、右ページに学習の進め方が示されているので見やすいし、生徒が学習しやすいのではないかと思います。</p> <p>また、資料編がかなり充実していると思います。</p> <p>便箋封筒の書き方、送り状、のし袋、願書など、普段なかなかできないことが日常生活の例として紹介されているので、家庭でも活用できると感じました。</p> <p>光村図書は、職務代理も言われましたが、書写ブックが別冊になっているので、家庭学習や自己評価にも使え、良いと感じました。</p>
<p>佃委員</p>	<p>書写というのは、限られた時間のなか、豊かな授業を展開するのがとても大事な教科だと思います。</p> <p>そのなかで、硬筆、毛筆の扱いはどの社も丁寧に充実しているんですが、それ以外に興味関心を引くという点で、例えば東京書籍でしたら、生活に広げようということで、手紙、本のポップ、パンフレット等を扱われています。</p>

<p>(佃委員)</p>	<p>三省堂は、やってみようというところで新聞や情報誌、名言集なども扱われています。</p> <p>教育出版は身近な学校生活に活かすということで、実践的にポスターを書いてみたり、案内状やメッセージカードが扱われています。</p> <p>光村図書は、学校生活のなかで目標を書いたり、全国の補助マップなども扱われていて興味深いと思いました。</p> <p>教育出版は、扱う素材が万年筆からサインペンまでと、分類が多かったです。</p> <p>光村図書は、先ほどから言われるように、別冊の書写ブックを家庭学習で活用できますし、授業の関心が向くようになっているので良いと思いました。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>より本市の子どもたちにふさわしいという観点で、さらに深めたいと思います。</p> <p>ご意見をお願いします。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>どの出版会社も生徒たちの書写に対する関心を深めるために、色々な工夫をされていると思いますが、書写の授業は時間をたくさんとれないということもありますし、多様な表現、多様な関心をもつという部分が必要だと思います。</p> <p>そういう意味で、三省堂は、行書の工夫であるとか、実生活に活かした教材があり、情報量が多すぎず、少なすぎず適切で、本市の書写にふさわしく、三省堂でいかがかと提案したいと思います。</p>
<p>竹内委員</p>	<p>三省堂は、各教材の最後に自分で記述できる欄があり、学習を振り返って課題など書き込めるので、自己評価がしやすく、使える教科書だと強く感じました。</p>
<p>佃委員</p>	<p>光村図書の分量が圧倒的に多く、いいなと思っておりましたが、職務代理がおっしゃるように、書写の授業の時間数を考えると、なかなか難しい部分もあるのかなと。</p> <p>三省堂の分量は適切ですし、1時間でどういう学習をするのかが見開きでわかりやすくなっているのが良いと思いました。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>では、皆様のご意見をまとめますと、社会生活での実用性、主体的な学びの工夫、分量などのバランスという点を勘案しまして、三省堂がよりふさわしいと思われませんが、三省堂を採択することと決定してよろしいですか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>

植田教育長	<p>異議なしと認め、書写の教科書は三省堂を採択することとします。 続いて「社会の地理的分野」についてお願いします。</p>
堀選定委員会委員長	<p>社会の地理的分野は4社から教科書が出版されております。 どの教科書も、地理的分野の目標である社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を迫及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指すということを踏まえ作成されておりました。詳細は紙面の方をご覧ください。 以上でございます。</p>
植田教育長	<p>それぞれの教科書を読まれてのご意見をお聞かせ下さい。</p>
山本教育長職務代理者	<p>地理的な見方・考え方を横断的に見ていきますと、東京書籍については、学習課題等が適切であり、特に基礎、基本の力をつけていく観点で取り扱いやすいと思います。 教育出版は、地理に限らない教養であるとか現代社会の取組み、世界と日本の関連に重点をおいた編集方針ですので、現代日本の課題あるいは地域から世界を考えた課題がすごくわかりやすいと思います。 帝国書院につきましては、本文の冒頭に学習課題が明記されていますので、生徒自身がとっつきやすいと思います。 情報活用能力の育成というところに重きをおいていますので、情報量は多いと思います。 日本文教出版は、チャレンジさせるということで、機械的に調べて議論していくという方針をとっておられ、質の高い学びや授業になると思います。</p>
吉田委員	<p>東京書籍ですが、みんなでチャレンジというところが対話的な学びにつながると感じました。 教育出版は、色々な点で自分の考えをもてる感じがしました。 地理の窓というところでは、世界の諸地域ごとに詳しく紹介がありました。 帝国書院ですが、小学校の学習との関わりがわかり、繋がりが感じられました。 日本文教出版は、職務代理がおっしゃったチャレンジというところで、色々な意見を議論して書き込んで活動ができるというところに魅力を感じました。</p>
竹内委員	<p>東京書籍ですが、抜き書きの紙面に本文があって、写真、地図、イラスト、グラフや表などの資料が見開きに配置されているので、見やすくレイアウトされていると思いました。</p>

<p>(竹内委員)</p>	<p>従って、内容を理解しやすく資料も豊富なので、さらに発展的な学習も進めやすいと感じました。</p> <p>また、スキルアップのコーナーでは、地理の基礎的な技能を身につけることができるように工夫されていると感じました。</p> <p>教育出版で特に感じたのは、学習のコラムで地理の窓とか、地理の技のコーナーがありまして、生徒が興味を持って学習できる内容になっていると感じました。</p> <p>帝国書院は、はじめの方に問いや学習課題が明記してあり、学習の見通しが持てるように工夫されていると思いました。</p> <p>また、子どもたちにとってとっつきやすい文章だと感じました。</p> <p>日本文教出版で特に感じたことは、スキルアップのコーナーで体験的学習につながるところが工夫されていると感じました。</p>
<p>佃委員</p>	<p>東京書籍ですが、竹内委員もおっしゃったのですが、ページの下にあるチェックやトライで考えを深めることができ、大変わかりやすいと思いました。</p> <p>教育出版ですが、学習課題が明確に書かれていて、確認、表現で知識を定着させ、さらに深く学べるところが工夫されていました。</p> <p>帝国書院ですが、学習を振り返ろうというところで、左のページで知識を確認し、右のページで地理的な見方、考え方などを説明するという工夫がされていると思いましたし、学習の課題があり、確認、説明という流れも一貫してて良いと思いました。</p> <p>日本文教出版ですが、こちらも学習課題の下に、見方、考え方がしっかりあって、深めよう、確認しようで考えを深められるところが工夫されていると思いました。どこの会社にも地域調査の希望というのがあるんですが、子どもの活動の様子が写真で載っていて、身近に捉えることができると思いました。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>より本市の子どもたちにふさわしいという観点で、さらに深めたいと思います。</p> <p>ご意見をお願いします。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>教育出版については、写真が大きくてわかりやすく、文字も見やすい。身近な話題も多いということでもとても良いと思います。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>東京書籍は、資料から思考力を育てるという観点で、子どもたちが考える教科書として良いと思います。</p> <p>教育出版については、先ほど言いましたように、日本、世界という現代的な課題を追求していますので、本市の生徒たちに身につけさせたい力を学習することができます。</p>

<p>(山本教育長職務 代理者)</p>	<p>帝国書院は、情報活用能力の育成ということに重きを置かれており、特に地図の活用が基盤になっていると思います。</p>
	<p>日本文教出版については、佃委員が言われたように、学習課題がスキルアップ、トライ、確認、見方として整理されていますので、生徒自身が見やすいと思います。</p>
<p>竹内委員</p>	<p>そういうことを考えますと、吉田委員が言われたように、私も、子どもたちが地理的な見方、考え方を身につけるという点、また、現代的課題を扱っている点で教育出版がふさわしいと思います。</p>
	<p>教育出版について、地理の技、読み解こうというコーナーがあり、ここで資料の活用など、調べ学習が魅力的にできる仕組みになっています。</p> <p>知識の吸収だけでなく、積極的に情報を活用する部分がありますので、良いのではないかと感じます。</p>
<p>佃委員</p>	<p>竹内委員がおっしゃった技能の面ですが、確かに教育出版の地理の技のコラムは、略地図を書いたり、グラフや統計資料を読み取るなど、地理に必要な機能を見つける工夫がすごくいいと思いました。</p> <p>同じように、帝国書院でも、技能を磨くという23のテーマで写真の読み取り方、地理的な見方、考え方を活かすという工夫があるのもいいと思いました。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>では、皆様のご意見をまとめますと、グローバル化、国際社会への興味関心の喚起と課題認識という観点、基本意識教養、確認と定着のみならず考えを深めるという観点から、教育出版がよりふさわしいと思われませんが、社会の地理的分野において、教育出版を採択することと決定してよろしいですか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>
<p>植田教育長</p>	<p>異議なしと認め、社会の地理的分野の教科書は教育出版の教科書を採択することとします。</p> <p>続いて社会の歴史的分野についてお願いします。</p>
<p>堀選定委員会委員 長</p>	<p>社会の歴史的分野は7社から教科書が出版されております。</p> <p>どの教科書も、歴史的分野の目標である、社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指</p>

<p>(堀選定委員会委員長)</p>	<p>すことを踏まえ、作成されておりました。 詳細は紙面の方をご覧ください。 以上でございます。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>それぞれの教科書を読まれてのご意見をお聞かせ下さい。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>委員長が言われた歴史の見方を身につけるといふ部分、そのために、色々な資料から情報を収集し、思考力を身につけるといふことが大事だと思います。 東京書籍は、歴史へのとびらを最初にもってこられ、そこから導入に入り、すごく工夫されていると思います。資料もすごく多く、その中から生徒たちが考えるという点において、とても良かったと思います。 まとめの活動が入っており、使い方によりますが、その発想が良いと思います。 教育出版は、各章、各単元のテーマが斬新で、子どもたちが関心を持つと思います。</p>
<p>竹内委員</p>	<p>教育出版ですが、教科書の導入部分に歴史すごろくというのが大きく掲載されていて、興味、関心を引きつけます。 また、小学校の復習ができるようになっていて、興味をもって学習のスタートが切れると思いました。 歴史の窓とか歴史を探ろうというコーナーもあり、個人差はありますが、好きな子、苦手な子を含め、個々に応じた学習に対応できるよう工夫されていると感じました。 山川出版社ですが、見開きページの右下に、ステップアップというコーナーがあり、質問の形をとりながらさらに深めてほしい課題を示すなど、発展的な学習ができるよう工夫されていると思いました。 歴史へのアプローチというのがテーマに基づき詳しく解説されているので、さらなる学びに繋がるように工夫されていると感じました。</p>
<p>佃委員</p>	<p>東京書籍ですが、全ての問いが簡潔でわかりやすいと思いました。選定資料にもありますが、章の最後にまとめの活動、思考ツールがしっかり説明されているのもいいと思いました。 教育出版ですが、単元の最初に印象を示して、問いを？マークで記し、学習課題として大変わかりやすくまとめられていると思いました。 帝国出版ですが、今日の学習を振り返ろうといふことで、歴史的な見方、考え方を働かせて進んでいくにつれ、自分の意見を語れるような工夫がされている印象があります。 山川出版社ですが、資料が大変豊富で情報量が多く、歴史好きの生徒には良い教科書であると考えます。</p>

(佃委員)	<p>地域からのアプローチということで、食べ物や芸術面から歴史に迫るとい う点でも面白い工夫がされていると感じました。</p> <p>日本文教出版ですが、単元の始まりに、見方、考え方を「何々しましょう」 と表現されている部分は、生徒には分かりにくいのではないかと感じました。</p> <p>育鵬社ですが、歴史のターニングポイントはディベートでも取り上げやす いのではないかと感じました。</p>
吉田委員	<p>教育出版は、歴史すごろくが巻頭にあり、小学校の復習をしながら楽しく 導入できるのではないかと感じました。</p> <p>また、字が大きく分かりやすく、写真に年齢が入っていることも楽しく学 習できると感じました。</p> <p>東京書籍は、くらげチャートが思考に工夫がされていて良いと感じました。</p> <p>山川出版社は、用語の解説、先ほどもあったステップアップがページの下 にまとめて書かれてあり、わかりやすく感じました。</p> <p>日本文教出版は、写真が多く、色遣いがとてもよく、見ていてわかりやす いと感じました。</p> <p>歴史インデックスがあり、学習をしながら、今どの辺りを学習しているか がわかりやすく感じました。</p> <p>その部分は帝国書院も同じです。</p> <p>育鵬社は、内容が細かく少し高度に感じました。</p>
竹内委員	<p>学び舎は、単元のはじめに、単元に基づいた各地の様子を表す写真や資料 を掲載しているので、生徒が興味や関心をもって学習のスタートを切れると 感じました。</p> <p>A4サイズと大きなサイズのため、資料、写真、記述が豊富になっており、 全体的にゆとりが感じられ、見やすくなっています。</p> <p>各部の終わりに学習のまとめのコーナーがあり、表や地図の活用により学 習内容の比較をしたり、関連させながら振り返ることができることから、歴 史の力がつくと感じました。</p> <p>育鵬社は、イラストや漫画を用いており、生徒たちが学習内容を視覚的に 把握しやすく、見やすく工夫されており、生徒も興味をもって学習できると 感じました。</p> <p>日本文教出版で良いと感じた点は、歴史の学習を豊かにするコラム、先人 に学ぶ、女性史コラム、地域に学ぶなどが充実しているので、歴史に興味 がある子、そうではない子も興味をもって学習できると感じました。</p> <p>帝国書院は、見開きの右下に、確認しよう、説明しようという言葉があり、 学習内容を振り返ったり確認する作業や考えたり表現したりする課題を設け ているので、生徒も学習しやすいと感じました。</p> <p>東京書籍は、各章の最初に絵巻物などの資料が視覚的に見れるようになっ</p>

<p>(佃委員)</p> <p>山本教育長職務代理者</p>	<p>ていて、今からやっという関心を高められるような工夫がされていると感じました。</p> <p>帝国書院は、歴史を探るという点で人物コラムに49人の人物を取り上げています。</p> <p>人物に特化して子どもたちの関心を惹くと感じました。</p> <p>歴史を探ろうの中には、人権を含む現代的な課題も取り上げられています。公害について非常に丁寧に取り上げている印象を受けました。</p> <p>山川出版社は、個人的には世界との関連に工夫があり、バランスの良い、教科書らしいものであると感じました。</p> <p>佃委員からもあったように、資料も多く、読みやすいですが、生徒たち自身が自分の考えとして表現していくには資料が多すぎると感じるものの、個人的には進めたい教科書です。</p> <p>日本文教出版は、内容が豊富で、それがページ数に表れています。内容の豊富さゆえにバランスの良い教科書であると感じます。</p> <p>特に、学習の整理、活用というページが使いやすいと感じました。</p> <p>育鵬社は、学校からの意見書にもあるように、色々な立場で意見交換ができると思います。</p> <p>特に、憲法改正の部分にも触れ、主張が多いと思います。</p> <p>これについて、アンケートや要望書の中に批判的な観点で書かれている部分もありますが、歴史のターニングポイントの部分で、今の日本の国のことを考え、歴史的な視点を身につけるための意見交換や討論を是非の立場での討論という形で取り上げ、子どもたちを育てることになると考えます。</p> <p>各章の歴史絵巻も時代の大きな流れがわかるので、各時代の代表的な出来事を提示している点で工夫が感じられます。</p> <p>学び舎は、章の振り返りがあり、自分の考えをまとめて発表できるという良さがあります。</p> <p>歴史を体験するということで、福沢諭吉の学問のすゝめの主張の是非を討論するという取組みもあり、子どもたちの考えを整理するうえで役立つと感じます。</p>
<p>佃委員</p>	<p>教育出版は、それぞれの授業の最初のテーマの部分に、「望月の欠けたることもなしと思えば」とあって、何これと思うような仕掛けがあり、他教科との関連を含め、子どもたちの興味関心を惹くような工夫が面白いと感じました。</p> <p>学習のまとめの部分も生徒にとってわかりやすいと思います。</p> <p>日本文教出版は、文化のページが非常に充実しており、金剛力士像の迫力のある写真や金閣寺が非常にきれいだと感じました。</p> <p>面白かったのが女性史コラムで、紫式部と清少納言が歴史上で活躍した人</p>

<p>(佃委員)</p>	<p>として扱われていたのが非常に新鮮で、紫式部から市川房枝までありますが、国語ではなく歴史の勉強でこの視点は面白いと感じました。</p> <p>帝国書院は、タイムトラベルの絵が12枚あり、是非見ていただきたい、すごいと感じました。</p> <p>このイラストだけで時代がよく分かるし、イラストから場面を探したり前の時代と比較ができます。</p> <p>文化でも分かりやすい絵や写真が用いられており、知識を深めるには良いと感じました。</p>
<p>竹内委員</p>	<p>教育出版は、歴史の技コーナーがあり、歴史学習の基本的な技能を身につけるコーナーになっています。</p> <p>情報収集や学習のまとめ、発表などにより、個人はもとよりグループ活動で深く学習できるよう配慮されていると感じました。</p> <p>また、歴史の窓や歴史を探ろうのコーナーがあり、深く対応できる個に応じた工夫がされていると感じました。</p> <p>山川出版社は、身近な地域を調べようという学習があり、地域学習の方法を具体的に示していますし、レポートの作成や発表方法を説明し、地域からのアプローチで地域を通した歴史学習ができるようにするなど、地域を大事にしている印象を受けました。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>選定委員会の報告にもあるように、東京書籍は初めの導入の部分で年表や世界の様子が同時にわかるという工夫が感じられます。</p> <p>導入部分の写真が大きく生徒自身が色々なことを考えやすいし、それをもとにしたコラムなどが多いと感じます。</p> <p>表紙の裏の国宝や文化財等の作品もよくまとまっていると感じます。</p> <p>帝国書院は、多面的・多角的に考えてみようということで、赤穂事件などをもとに話し合いをするという取組みもあります。</p> <p>佃委員も述べられたように、タイムトラベルは導入に良いと感じましたが、写真があればなお良かったという印象を受けました。</p> <p>日本文教出版は、ページ右側に時代や世紀のスケールが設けられており、学習している世紀や時代を常に確認できるという工夫がされていることも含め、良かったです。</p> <p>また、行間等も含めてバランスがよく見やすかったです。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>教育出版は、小学校で出てくる人物の写真に小学校の表記があり、これで振り返りができるという点が魅力的だと感じました。</p> <p>佃委員も述べられたように、タイトルの上に歴史インデックスがあり、下に学習課題が示されており、子どもの興味を持たせるという点で良いと感じました。</p>

山本教育長職務代理者	<p>育鵬社は地域の歴史を調べようで大阪が取り上げられています。 他のところで取り上げられている地域等を調べたら、近畿圏に関係したものはありません。</p>
植田教育長	<p>その他はありますか。 それでは、ただ今の意見をまとめると、歴史を俯瞰し、大局的見地で捉えるという観点、過去に学び今日的課題の解決を図り未来へとつなげる観点、生徒の興味関心を喚起し、そこからより深い学びへと進めるという観点から、教育出版がよりふさわしいと考えますが、教育出版の教科書を採択することで決定してよろしいでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>
植田教育長	<p>異議なしと認め、社会の歴史的分野は教育出版の教科書を採択することといたします。</p> <p>続いて、社会の公民的分野についてお願いします。</p>
堀選定委員会委員長	<p>社会の公民的分野は6社から教科書が出版されております。 どの教科書も、公民的分野の目標である、現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を迫及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指すということを踏まえ、作成されてきました。 詳細は紙面の方をご覧ください。 以上でございます。</p>
植田教育長	<p>それぞれの教科書を読まれてのご意見をお聞かせ下さい。</p>
山本教育長職務代理者	<p>公民につきましては、選定委員長が言われた中身と関係ありますが、個人の尊厳と人権の尊重という観点が一番必要と考えます。 そういう観点で見ますと、東京書籍については、これからの社会を考える、特に共生社会を中心に考えられていて、人権と共生社会、差別の問題、これからの人権保障等に合計16ページぐらい割いておられ、すごく入りやすかったと思いますし、本市の生徒たちにはぜひ学んでほしい内容と考えております。 教育出版ですが、人権に色々と配慮され、差別をしないさせないの項目で、これから発展する人権課題も含めて6ページと2ページを取り上げられています。</p>

(山本教育長職務
代理者)

現代を生きるというテーマにうまくマッチしていますし、SDGsについて、持続可能な社会というのを常に考えておられてますので、その部分も結構ページ数をさいていると思います。

帝国書院につきましては、歴史を踏まえて現代をみるという視点の記述がすごく多く、難民、選挙権、すべての課題を取り上げておられます。

88のテーマと、コラム等を含めて色々取り上げられていますので、より良い社会をめざすという編集方針が生きていると思います。

アクティブフォーム、10テーマありますが、この取り上げの中身も良かったですし、学習の振り返りもすごくよくわかったと思います。

日本文教出版につきましては、めあて、見方、考え方、この部分が学習指導要領の学力観を意識しているという選定委員会からの報告もありますので、全くそのとおりだと思ってます。

この出版会社は、めあて、イラストがすごく見やすいと思いました。

ただ、資料が35ページにわたっていますので、他の出版会社に比べて資料が少し多く、その分ページ数が多いと思います。

竹内委員

東京書籍で感じることは、インクルージョン、ダイバーシティなど人権に関する最新の語句が太字で強調、記載されているので、印象深く学習できると感じました。

教育出版は、公民の技とか確認というコーナーが個人やグループで資料を活用したり、調べたりまとめたりする体験的な学習ができるように工夫されていると感じました。

もう1点、言葉で伝え合おうというところでは、現代社会の諸問題を議論する際のスキルやプレゼンテーションを体験的に学べるよう配慮されていると思いました。

日本文教出版は、各編の導入の部分で漫画やイラストを使い身近な場面にある学習課題を分かりやすく説明し、学習の整理や活用と最後のまとめで学習内容を整理する構成になっていますので、子どもたちが非常に学習しやすいと思いました。

厚紙で研究を掲載したり、バリアフリーなどの諸問題を取り上げて、人権配慮に関する資料が非常に豊富だと感じました。

自由社ですが、本文の見開きのページで構成され、本文と資料の配置が統一されているので、非常に読みやすいと感じました。

章末の学習のまとめと発展というコーナーでは、学習した用語の確認など、学習難易度の振り返りや発展的な学習ができるよう非常に工夫されていると思いました。

また、ミニ知識をもっと知りたいというコーナーがあり、学習した内容をさらに詳しく解説しているので、今の社会で必要な知識を身につけたり、深く考えたりできるよう工夫されていると思いました。

(竹内委員)	<p>育鵬社について、印象に残ったことは、スキルアップ、トライというコーナーがあり、ここで自分の考えをまとめて発表できるような構成になっているので、非常に役に立つと感じました。</p>
佃委員	<p>東京書籍ですが、情報量が大変多く、生徒にとって身近なものを意識して写真が使われているように思いました。</p> <p>特に、投票の写真を高校生の様子で示すなど、工夫が伺えました。</p> <p>教育出版ですが、先ほど職務代理がおっしゃった、めあて、見方、考え方を意識して見やすく、色々な図も対比しやすいように配置されていると感じました。</p> <p>問いがすごく分かりやすく、子どもたちがすんなり入れるように工夫されていると感じました。</p> <p>日本文教出版ですが、表紙の裏にSDGsを大きく扱い、これからの社会について、生徒に意義をもって問いかけているところが印象に残りました。</p> <p>学習課題を深めるよう、全てのページが確認と流れで分かりやすくなっているところが良いと感じました。</p> <p>第5編の持続可能な社会をめざすというところの、私たちの課題という部分がものすごく深く、テーマを設定して資料を収集し、まとめて発表、プレゼンテーションという流れが授業で使えるし、スライドの作り方まで説明され、評価についても扱っているのが素晴らしいと感じました。</p> <p>育鵬社ですが、SDGsのところでも扱われない2000年のMDGs、SDGsの前のミレニアム開発目標まで扱っているのは驚きました。</p>
吉田委員	<p>東京書籍ですが、18歳へのステップの特設ページが設定されており、18歳からの選挙権や様々な契約の解説などがあり、子どもたちに知識を持たせるにはとてもいいことだと感じました。</p> <p>帝国書院ですが、アクティブ公民のページで技能を磨くロールプレイング方式が設けてありまして、生徒同士の議論に期待できると思いました。</p> <p>日本文教出版ですが、点字を掲載してあったり、ルビ打ちが多かったり、人権という点で配慮されていると感じています。</p> <p>育鵬社ですが、方針にもありましたが、新聞記事を多く取り上げ、鉛筆マークなどで記載の仕方も工夫されていると感じます。</p>
山本教育長職務代理者	<p>自由社について、学校意見書のなかに、社会的課題の解決を考えるという意見や教科書に書き込めるワークがすごく使いやすいという意見がありました。</p> <p>第1章で、家族、国家の問題を取り上げていますが、このところが愛国心に特化されています。これについて、アンケート等のなかに色々な批判的なご意見もありましたが、愛国心に特化しているのは自由社のこの部分が一</p>

<p>(山本教育長職務 代理者)</p>	<p>番多いかなと思います。</p> <p>家族、国家に関係したグローバル化の問題であったり、伝統と文化の継承などにもう少し踏み込んでもらえたらよかったかなと思います。</p> <p>後半部分に、卒業論文にまとめるという新鮮な考え方でページをさいておられたのがすごく良かったと思います。</p> <p>あと、主張の部分が長く、世界の公民という考え方が出され、生徒自身がディベートをして課題を探求するのに役立つと思います。</p> <p>育鵬社については、日本人の自覚という愛国心を含め、色々なご意見があったと思いますが、基本的人権の保障というところに結構なページ数をさいておられます。</p> <p>自由社と同様、新しい概念として、国民国家ということを言われており、生徒たちにとっては概念形成が難しい部分があるかと思っています。</p> <p>資料のなかに、大日本帝国憲法が載っていますが、他社はほとんど抜粋であり、育鵬社は資料として全部載っているという他にない取組みもありました。</p> <p>あと、選定委員会からの答申にあります、新聞記事をたくさん取り入れておられ、新聞を利用して日常的な活動ができるというところがすごく取り入れやすいところかと思っています。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>本市の子どもたちへという観点で、もう少し絞り込み、さらにご意見を願いたいと思います。</p>
<p>山本教育長職務代 理者</p>	<p>絞り込んでということですので、私自身は教育出版が身近な題材等を取り上げ、子どもたちに分かりやすいと思います。</p> <p>帝国書院は、多くの現代的な課題を取り上げておられます。</p> <p>監修者の意図がそこに働いているのかと思いますが、そういう点からいうと、これからの社会を生きていくと本市の子どもたちのためには、帝国書院、あるいは教育出版がいいという印象を持っています。</p>
<p>佃委員</p>	<p>私は日本文教出版がいいと思っています。</p> <p>チャレンジ公民というところがあるんですが、それぞれの単元で学んだことを活かし、主体的に考えを深められるよう、例えば、自分たちのまちの市長を選ぼうとか、地球温暖化に対する政策について考えようということで、自分ごととして捉え、仲間と話し合い、共同的な学びを進めることにより深い学びになる工夫がされています。</p> <p>その間でも、ダイヤモンドランキングやレーダーチャート等を扱ってみたり、また、先生からの視点がイラストで示されていて、より深まる工夫がされています。</p> <p>アクティブラーニングというなかでは使いやすいのではないかと思います。</p>

(佃委員)	た。
竹内委員	<p>私は教育出版か日本文教出版がいいと思います。</p> <p>教育出版では、学習のコラムのなかに氷の窓とか、クリップというコーナーがあり、生徒が興味や関心を広げていくコラムになっており、もう1つは、特設ページの読んで深く考えようは、学習したことをさらに深める資料や内容になっているので、生徒たちが本当に興味をもって学習ができる配慮がされていると思います。</p> <p>また、日本文教出版で特に感じたことは、重要語句を太字のゴシック体にしたり、漢字のルビ打ちや難しい用語に解説を記すなどして、生徒たちが理解しやすいように配慮、工夫がされていると強く感じました。</p>
吉田委員	<p>私は日本文教出版です。</p> <p>バリアフリーのコーナーで大阪府、大阪市、堺市を取り上げていたり、人権の問題でコリアタウンなど大阪を取り上げたり等、身近な情報が載っているといます。</p> <p>加えて、重要語句の見やすさ、ルビ打ちがあるのが子どもたちは見やすいと感じます。</p>
佃委員	<p>教育出版の株式会社ってなんだろうというところからの導入は大変興味深く、キャリア教育としても面白いと思いました。</p> <p>日本文教出版は、市場の仕組みと価格ということで、ハワイ旅行のパンフレットの写真を用い、生徒たちが興味関心をもって取り組める工夫がされています。</p> <p>情報スキルアップのところで、ネット社会において統計やグラフを使いこなす技能もしっかりと深められているのが良いと感じました。</p>
山本教育長職務代理者	<p>先ほど教育出版と帝国書院のことを申し上げました。</p> <p>日本文教出版について、最初、見やすいけれども資料が多いと言いましたが、公民プラスαというテーマが22ほどあって、帝国書院同様、現代の課題を多く取り上げている部分が良いと思います。</p> <p>そのなか、明日に向かってというテーマが8テーマあって、堺市のバリアフリーがSDGsの未来都市という形で取り上げられている部分が新鮮で良く、本市の子どもたちに理解してもらいたいと思います。</p>
植田教育長	<p>では、皆様のご意見をまとめますと、複雑な現代社会の仕組み、難解な用語の理解を促進するための工夫に多様性の重視、特に人権の配慮、協働学習のサポートツールの充実という観点から、日本文教出版がよりふさわしいと思われませんが、日本文教出版を採択することと決定してよろしいですか。</p>

<p>植田教育長</p>	<p>(「異議なし」の声)</p> <p>異議なしと認め、社会の公民的分野の教科書は、日本文教出版の教科書を採択することとします。</p> <p>続いて、地図についてお願いします。</p>
<p>堀選定委員会委員長</p>	<p>地図は2社から教科書が出版されています。</p> <p>2社ともに、社会科の学習の資料として十分な内容を備えたものでした。</p> <p>地図においては、色合いや縮尺等の見やすさのほか、資料の活用として、内容の系統、配列、関連資料など、多角的な考察を広げ、深める際の活用もポイントとしてご検討いただきたいと思います。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>それぞれの教科書を読まれてのご意見をお聞かせ下さい。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>2社ありますが、地図については、生徒たちが見た時に、世界や日本のことに触れ、こういうことになっているんだと興味関心を持たせることが大事と考えます。</p> <p>そういう意味で、東京書籍は現代的な諸課題として、環境、エネルギー、人口、貧困問題、紛争、難民問題等について、約10ページを割き全体の導入をされているのがよかったですと思います</p> <p>帝国書院は版が大きく、地図を活用して使いこなすのに適切だと思います。特に、世界と日本との結びつきについて、すごく工夫されているのが大きく感じました。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>東京書籍は色がとてもきれいで見やすく、赤字の書込みが見やすかったかと感じます。</p> <p>帝国書院ですが、海外のその土地の産物や特色が絵で示されているところが子どもたちにとってもわかりやすいと思います。</p> <p>大きな紙面ですので、日本地図が拡大されて見やすいと感じました。</p>
<p>佃委員</p>	<p>東京書籍はSDGsについて丁寧に扱われていると思いました。</p> <p>職務代理がおっしゃった現代的な諸課題についてのページも大変充実していて、写真とともに見応えがあり、色々な課題意識をもつにはふさわしいページだと思いました。</p> <p>全体的に色彩がやわらかいのも印象的でした。</p> <p>帝国書院ですが、日本の諸地域に関連したページが圧倒的に多く、特に、産業とか防災関係は倍以上あったと思います。</p> <p>近畿を多く取り扱っているのも大変良いと思いました。</p>

(佃委員)	<p>地理の学習と一緒に使うことが多いですから、地図の活用コーナーで資料から学び、それを主体的に取り上げて学べる工夫があるのがとてもいいと思いました。</p>
竹内委員	<p>東京書籍ですが、キャラクターのコメントを中心に、資料のポイント等を整理したり、親しみやすく資料を読み取ることができるようになっていると思いました。</p> <p>また、各内容にジャンプというのがあり、複数の資料を関連しながら考えられるようになっているので、地図、社会に関心や興味を持つように非常に配慮されていると思いました。</p> <p>帝国書院につきましては、皆さんがおっしゃるように大判で見やすくなっています。</p> <p>また、土地の統計とか、国名の色だとか、そういったものが工夫されており、非常に見やすいのがまず挙げられます。</p> <p>佃委員も言われましたが、近畿地方に関することが詳しく載っています。</p> <p>特に、河内湖が取り上げられているので、四條畷市の歴史を学ぶのに適していると感じます。</p> <p>さらに、資料が非常に豊富です。</p> <p>歴史的な資料、公民関係の資料なども非常に充実しているので、社会科全体に使い、効果的に地図を活用できるよう工夫されていると感じました。</p>
植田教育長	<p>では、皆さんのご意見をまとめますと、歴史、政治経済、文化との連関による学習の深まり、グローバル視点とローカルにも触れているという観点から、帝国書院がよりふさわしいと思われませんが、帝国書院を採択すると決定してよろしいですか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>
植田教育長	<p>異議なしと認め、地図の教科書は帝国書院の教科書を採択することとします。</p> <p>続いて、数学についてお願いします。</p>
堀選定委員会委員長	<p>数学は7社から教科書が出版されています。</p> <p>どの教科書も数学の目標である数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通し、数学的に考える資質・能力を育成することを踏まえ作成されていました。</p> <p>詳細は紙面をご覧ください。</p> <p>以上でございます。</p>

植田教育長	それぞれの教科書を読まれてのご意見をお聞かせ下さい。
吉田委員	<p>大日本図書ですが、文字の大きさや色などがとても見やすく良かったと思います。</p> <p>巻末に1年のまとめを小さくまとめ、いつでも見れるよう、切り離しができるようにしているところも良かったと思います。</p> <p>教育出版ですが、学んだことを活用しようというのがあり、学んだことが社会のなかでどのように使われているかが分かるようになっているのが魅力的だと思います。</p> <p>数研出版では、探求ノートがあり、そちらは家庭学習の発展に使えると感じました。</p>
山本教育長職務代理者	<p>どこの出版会社も導入は実生活に則した部分から入り、数学の良さを実感できると思います。</p> <p>学校図書も現代に続く数学という流れの中で一番関心をもったのは、巻末にプログラミング学習を取り入れています。</p> <p>また、今の自分を知ろうということで、SDGsを意識的に取り入れているところもすごく良かったと思います。</p> <p>特に、2年生のデータの分布、日本各地の年間の降水量等をデータ分析しているところは、導入にあたって工夫された部分だと思います。</p> <p>あと、深めようというところで、社会性あるいは生活面等で考えるという部分が各章にあるのも一つの特徴だと思います。</p> <p>円および接点の記述の仕方は、学校図書が一番まとまっていたと思います。</p> <p>例題を書き、回答をモデル化しているところは数学の不得意な生徒にはとっつきやすいと思います。</p> <p>教育出版は、各章にレッツトライを導入して、身近な問題から取り組んでいきます。</p> <p>これはどの教科書も同じ取り上げ方をされています。</p> <p>順不同になりますが、日本文教出版につきましては、数学をみつけようという観点を持ち、これも身近な中身から入っていきませんが、表紙の裏を学年で統一しており、導入部分のインパクトが良かったと思います。</p> <p>学び合おうというところでは、各学年が3～4テーマぐらいを取り上げ、数学的な活動に良いと思いますし、内容が非常にシンプルで使いやすいという印象を持ちました。</p>
竹内委員	<p>大日本図書ですが、すべての単元の項目にめあてが示されています。</p> <p>ノートの書き方についても、めあて、振返りができるように示してあるので、非常に生徒にわかりやすく、指導する側にも教えやすいように工夫されていると思いました。</p>

<p>(竹内委員)</p>	<p>東京書籍ですが、単元の導入のところが身近な生活のなかで出てくる疑問から始まり、数量や性質などを見つけ出して問題に取り組む構成になっているので、生徒がスムーズに学習しやすいのではないかと思います。</p> <p>学校図書についても、導入が工夫されており、行事ごとに振り返りができる工夫もされていると思いました。</p> <p>啓林館ですが、特に感じたことは、自分から学ぼう編が単元末、巻末の方にあり、また、学びをいかそう、力をつけようが設けられているので、学習したことを確実に身につけ、習得し、自学自習にも適していると思いました。</p> <p>数研出版ですが、特に感じたことは、数学旅行や探求ノートなどの課題学習が数学の面白さや楽しさを引き出すよう工夫されています。</p> <p>また、巻末に学びの自己評価チェック表があり、自分の学びを振り返ったり、チェックができるようになっています。</p>
<p>佃委員</p>	<p>東京書籍ですが、ノートの作り方、数学マイノートの部分は生徒にとって大変わかりやすいのではないかと思います。</p> <p>数学の学び方については、言葉の定義や定理をわかりやすく説明している箇所が多いと思いました。</p> <p>大日本図書ですが、数学の世界へようこそというところで、問題の発展や問題解決の流れについて、詳細に学べるところがいいと思いました。</p> <p>導入の活動時の話題が生徒にとって身近なものが取り入れられていると思いました。</p> <p>学校図書ですが、数学の学び方のところで、見直す、まとめる、活かすまで明示されているところが印象的でした。</p> <p>単位の学び方なども丁寧に扱われていると思いました。</p> <p>教育出版は、学習の前に復習をすることにより、知識の定着が図られる点について工夫がされていると思いました。</p> <p>啓林館ですが、竹内委員がおっしゃっていた、みんなで学ぼう編が縦、自分から学ぼう編が後ろから横になっていて、そういう面白い工夫が生徒に意外性をもって受け止められるのではないかと思います。</p> <p>自分から学ぼうのところに学びの足跡ということで、できたところにチェックをつけていく活動は生徒が意外と好きなのではないかと思います。</p> <p>みんなで学ぼう編の単元の目標で、重要な箇所に色がついており大変見やすいと思いました。</p> <p>数研出版ですが、生徒が対話する様子で進められており、それが学びのヒントとなり、授業の内容にすんなり入り込めるような工夫がされていました。</p> <p>また、探求ノートがついていますので、分量は気になりますが、発展的な内容を学ぶことができますし、ワークシートなどは自由に取り組めるので、興味のある生徒には大変使いやすいのではないかと思いますし、探求ノートのテーマの中身が色々工夫されていると感じました。</p>

植田教育長	<p>本市の子どもたちへという観点で、もう少し絞り込んでご意見をお願いいたします。</p>
山本教育長職務代理者	<p>先ほどふれるのを忘れていたんですが、因数分解を中心に見てみました。日本文教出版は、3年生の因数分解の導入を展開方式の部分で考えさせるところがあって、子どもたちに因数分解、展開方式がなぜこうなるのかと考えさせる視点が良かったと思います。</p> <p>同じ因数分解でいいますと、学校図書ですが、3年生の素因数分解が1年生に移行されている部分で、プラス、マイナスの学習の後にきているという工夫がすごく良かったと選定委員会でも評価されています。</p> <p>啓林館については、皆さん言っておられますが、円の接線の問題や円周角の問題を、こうなっていますと定義するのではなく、思考を問う形をとっています。</p> <p>高度に考えなければいけないという部分があり、これをうまく活用できれば、円の問題や円周角の問題は、すごくよくわかると思います。</p> <p>数研出版については、探求ノートが48ページありますので、うまく活用できればすごくいいと思います。</p> <p>円については、いろいろな問題提起をされていて、子どもたちがそのなかから自分に一番あった方法で考えていくという取り組みになると思いました。</p> <p>そういう観点からいうと、学校図書、啓林館、数研出版あたりが本市の数学的な手法をつけるのにふさわしいと感じます。</p>
佃委員	<p>先ほど言い忘れた日本文教出版についてですが、小学校の必修事項のなか、算数のたしかめのところで、分数や割合、速さなど、つまずきやすい項目を詳細に扱われてからスタートできるあたりが工夫されていると思いました。</p> <p>特に、数研出版と啓林館が良いとっていて、数研出版は探求ノートに加え、数学旅行というところで生活に関連した内容をたくさん扱っていて、暗号であったりとか、江戸時代に残された俵杉算、入れ子算といった昔の数学みたいなものが扱われているのが興味深かったです。</p> <p>啓林館では、統計という観点から、箱ひげ図の良さなどが、ヒストグラムと比較されて扱われるなど、思考が深まるのではないかと思います。</p>
竹内委員	<p>数研出版か啓林館が良いと思います。</p> <p>数研出版で特に感じたことは、単元末、巻末にどこの教材も確認問題、問題A B、また別冊探求ノートが設けられています。</p> <p>学習内容を確実に習得でき、個に応じた発展的な学習に役立つ部分があり、数学の力が身につくのではないかと感じます。</p> <p>啓林館で感じたことは、数学が苦手な子にとって、数学ライブラリーや学びをいかそうなどで社会生活に活かしたり、また、身近に感じられるよう工</p>

(竹内委員)	夫されていると感じます。
吉田委員	<p>啓林館についてですが、数学が苦手な子にとって、数学ライブラリーがとても良い題材だと感じます。</p> <p>琵琶湖の水位であったり、滋賀県の近江神宮を取り上げ、身近な情報から数学に関連するところを掴めるのではないかと感じました。</p> <p>自分から学ぼう編という横書きのところは、メリハリがあつて、子どもたちにも取り組みやすいのではないかと考えました。</p>
山本教育長職務代理者	<p>啓林館につきましては、データ編がすごく良いと思います。</p> <p>プログラミング的思考がうまく取り上げられていて、自分で学んでいくことができると思いました。</p> <p>数研出版は、調べよう、考えようというところがすごく多く、数学的活動において大事な部分とは思いますが、数学がやや不得意な生徒たちには少し不安を感じます。</p>
植田教育長	<p>では、皆様のご意見をまとめますと、協働学習によるプロセスの重要性が反映されている、基本から発展学習への工夫、社会生活へのブリッジが効果的に示されているなど、また、統計、プログラミング的思考の扱いが充実している点から、啓林館がよりふさわしいと思われませんが、啓林館を採択することと決定してよろしいですか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>
植田教育長	<p>異議なしと認め、数学の教科書は啓林館、正確には新興出版啓林館の教科書を採択することとします。</p> <p>それでは、審議の途中ではありますが、これより午後1時まで休憩とさせていただきますと思いますがよろしいでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>
植田教育長	<p>では、これより休憩に入ります。</p> <p>再開は午後1時でございます。</p> <p>(休憩)</p>
植田教育長	<p>それでは、休憩を閉じまして、教育委員会定例会教科書採択を再開いたします。</p>

<p>(植田教育長)</p> <p>堀選定委員会委員長</p>	<p>先ほどに続きまして理科についてお願いします。</p> <p>理科は5社から教科書が出版されております。</p> <p>どの教科書も、理科の目標である自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することをめざすということを踏まえ作成されていました。</p> <p>詳細は紙面をご覧ください。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>それぞれ教科書を読まれてのご意見をお聞かせ下さい。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>5社を読ませていただきました。</p> <p>理科は委員長が言われたように、科学的な見方をつけるために、実験・観察を中心に行うことがありますので、できるだけ写真を掲載するなど、見やすい教科書がいいと思います。</p> <p>順不同になりますが、大日本図書については、ねらいはいかに親しみがもてるかを中心に考えているので、現代的な課題、情報や伝統文化まで取り入れているところが良かったと思います。</p> <p>各章に探究活動というのが8ページほどあり、生徒が色々なことを考えていくうえで、なかなかよく考えられた活動だと思えます。</p> <p>考えを深めるため、2人のキャラクターで様々な問題提起をしており、こういう考えもあるんだという生徒の気づきに繋がると思えます。</p> <p>また、各章の実験に生徒の写真が多く使われており、生徒自身もとっつきやすいと思います。</p> <p>月の裏側の写真があり、太陽については色々な観点から定理を学べるのが良いと思います。</p> <p>選定委員会の資料にもありますが、大日本図書は、従来の生物、地学というのではなく、生物、科学、物理、地学という流れがかわっているため授業に合わせやすい配慮をされていると思います。</p> <p>これに対し、大日本図書と違う流れをもつ啓林館は、学習の流れが従来のおりになっていると思います。</p> <p>観察のパターンとして、目的、方法、結果、考察というふうに繋がっていきますので、すごくわかりやすいと考えます。</p> <p>図案も科学現象や写真がたくさんありますので、生徒の興味関心を引き出しやすいと思います。</p> <p>特徴として、お料理ラボ、お仕事ラボなど、合計13くらいのコラムを持ってまして、料理や仕事に理科の意識をどのように使えるかという日常生活での関心をうまく関連付けようとしており、良かったです。</p>

竹内委員

東京書籍だけはA4版のスリムになっています。

中を見ると本文が左側にあり、右側に写真や図があり、開いたときに見やすく配置されていると思います。

また、観察や実験の流れなどが理解しやすく、学習しやすいと思います。

もう1つ、ペーパークラフトの資料ですが、子どもたちができるように最後につけてあったり、コラムに漫画を取り入れたり、科学に関する本を紹介したりして、理科に少しでも興味をもってもらうよう工夫されていると思います。

大日本図書で特に感じたことは、現行版サイズになっていて、生徒が持っているノート、ファイルなどとサイズが揃うので、使いやすいと思います。

また、紙面も小さくなるので、負担も少ないと思います。

教育出版ですが、特徴的なのはハローサイエンスという項目があって、日常生活や社会と関連付けて考えるようになっていて、少しでも理科と科学に興味をもってもらうように配慮されていると思います。

啓林館ですが、見開きページのなかで本文が中央にあり、両端に写真や図を配置されているので、ぱっと見ただけで理解でき、便利だと思いました。

佃委員

東京書籍ですが、竹内委員のおっしゃったように、縦に長い分、実験などをする時に資料がひとめで分かる工夫がされています。

実験もステップ1、ステップ2というふうに、段取りよく、結果、考察に進むことができ、探求が始まるわかりやすい仕組みになっています。

教育出版ですが、全ての学年の折込みに、探求の進め方というのがついていて、単元のはじめに必ず進め方を確認し、探求で必ず覚えながら学習できるようにになっています。

また、単元のはじめに、おさらいということで、小学校の履修内容の確認があったり、学習前のわたし、学習後のわたしということで、どうすればいいのだろう、説明してみようなど、科学的な捉え方をしたり、できたという実感がもてるような工夫がされていました。

啓林館ですが、学校の意見書にもありましたように、全て写真が美しく、メスシリンダーのメモリが見やすいなど、わかりやすい写真、資料が豊富に取り揃えられていると思いました。

様々な科学反応の変化の仕方なども、わかりやすく捉えることができると思いました。

吉田委員

大日本図書ですが、単元ごとのまとめの読解問題が見やすく、分かりやすくいいと思いました。

学校図書ですが、気体の発生のさせ方の説明が一覧表として大きく載っており、先生方が実験の手引きをするのに説明しやすいのではないかと感じました。

<p>(吉田委員)</p>	<p>教育出版ですが、覚える単語が赤字で書いてあり、それを赤シートで隠してみたところ、自身での学習に活かせるのではないかと感じました。</p> <p>單元ごとの要点と重要用語も、答えが赤で書いてあるので、その部分を赤のシートで隠しながら学習ができるという点で活用しやすいのではないかと感じました。</p> <p>啓林館ですが、イラストや絵、表が大きく書かれているので、見やすくわかりやすいです。それから、サイエンス資料で算数や数学などと関連づけて確認ができるというところもいいと思いました。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>東京書籍ですが、竹内委員が言われたように縦長の変則的な大判になっています。</p> <p>その部分、良いところと少しわかりにくいところの両方の部分があるものの、実験等の順番が上から順番に書けるのがすごく良いと思います。</p> <p>学校図書ですが、巻頭に理科のトリセツというのが学年により10ページから6ページぐらいあって、教科書の使い方がそれを含めて16ページぐらいあります。</p> <p>これによって、生徒自身がこの教科書の使い方をすごくよくわかると思います。</p> <p>ただ、ページ数を使っている分、その他の部分が他の教科書より少ないかなと思います。</p> <p>少ないなか、実験のところでは透明半球の太陽観測を取り上げていますが、他社は1、2ページのところ、3ページ使って分かりやすく解説しているので、この部分が生徒に効果的だと思います。</p> <p>各章が、探求、実験、結果、考察と、それぞれの実験に対するアプローチの仕方がきれいにまとまっていますので、見やすいと思います。</p> <p>特に、3年生の環境について、SDGsに関するページを20ページほどとっていますので、この部分も特徴だと思います。</p> <p>教育出版について、先ほど理科室の決まりについてふれられていましたが、巻末に1年生は生物カード、2年生は原子の問題、3年生は星座の早見盤の作成というのがあって、各学年ともよく工夫されていると思いました。</p>
<p>竹内委員</p>	<p>学校図書ですが、学校意見書にもあったよう、課題を赤字で表しており、重要語句を太字にしています。</p> <p>これは、インパクトがあって子どもたちも印象に残り、見やすいと思いました。</p> <p>教育出版は、章末のところで要件をチェック、単元末のところで要点と重要用語の整理、基本問題では学習した内容など、色々な形で振り返ることができるよう工夫されており、非常に身につくよう配慮されていると思います。</p>

<p>佃委員</p>	<p>啓林館は、考えてみよう、根拠を明確にしてみようというところを意識して、算数科や数学科と関連するページがあり大変わかりやすいと思いました。</p> <p>單元ごとに学習のまとめや力だめし問題の分量が大変多く、発展的学習に繋がられると思いました。</p> <p>教育出版は、ハローサイエンスの中身が大変良くて、3年生では情報モラルやプログラミングについての考えも扱ってましたし、2年生では、熱中症にご注意をということで、身体から水分が失われる仕組みなどをわかりやすく掲載されているのが印象的でした。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>より本市の子どもたちへという観点で、絞り込んでご意見をお願いします。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>最初に申し上げたように、実験、観察というところから、理科の興味、関心を引くという観点が大事だと思います。</p> <p>教育出版については、学校意見書にもあるように、実験、タイトル、考察、指導というのが工夫されています。</p> <p>なお、全体にシンプルでレイアウトも見やすいという意見があり、そういう観点からいうと、実験の流れがすごく理解しやすく、教育出版が良いと思います。</p> <p>もう1社、啓林館は写真などのバランスがすごく良く、特に1年生の動植物の写真が良い形で配置をされていますので、そこから興味を持つと思います。</p> <p>なお、まとめのところに発展的な部分があり、関心を持つ生徒には使いやすいと思いますので、教育出版か啓林館がいいのではないかと考えます。</p>
<p>佃委員</p>	<p>私も教育出版が良いと思っていました、先ほど職務代理がおっしゃった、探求活動として課題を見つけ、仮説を立て、計画して実験、考察という自然の流れのなかで探求活動ができること、また、各学年に発表の場面が取り入れられていて、話し合おうとか、活動しようということをテーマに対話的な学びが取り入れられている点も非常に好感が持てました。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>私も教育出版が良いと思っています。巻末資料が多いこと、巻末に基礎技能一覧が載っており、図、文字、配列が見やすく、子どもたちが探しやすいのではないかと思います。</p>
<p>竹内委員</p>	<p>私も教育出版が良いと思います。</p> <p>先ほども言われてましたが、学習前のわたしと学習後のわたしというコーナーがあり、理科で学んだことを活かして、自然や実生活、身の回りの現象を科学的に探求できるよう、また、より興味関心を持てるように配慮されています。</p> <p>子どもにとって身近に感じられる教科書になっていると感じます。</p>

植田教育長	<p>では、皆様のご意見をまとめますと、自然科学としてのサイエンスアプローチ・メソッドが充実している、基本的事項から発展学習への展開が図られている、興味関心を引き出す工夫がほどこされているという観点から、教育出版がよりふさわしいと思われませんが、教育出版を採択することと決定してよろしいですか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>
植田教育長	<p>異議なしと認め、理科は教育出版の教科書を採択することとします。</p> <p>ここでまずお諮りします。</p> <p>音楽については、音楽とその次の器楽、これを一体として採択をしたいと思いますが、いかがでございましょうか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>
植田教育長	<p>では、異議なしと認めます。</p> <p>それでは、器楽の準備もお願いします。</p> <p>音楽の一般及び器楽について、あわせてお願いします。</p>
堀選定委員会委員長	<p>音楽の一般は2社から教科書が出版されております。</p> <p>あわせて、音楽の器楽合奏も2社から教科書が出版されております。</p> <p>どちらの教科書も、音楽の目標で、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かにかかわる資質・能力を育成することをめざすということを踏まえ、作成されてきました。</p> <p>詳細は紙面をご覧ください。</p>
植田教育長	<p>それぞれの教科書を読まれてのご意見をお聞かせ下さい。</p>
佃委員	<p>音楽は、合唱、器楽、創作、鑑賞というそれぞれの分野があるんですが、どちらの教科書もその観点で丁寧に扱われていると思います。</p> <p>教育出版は、日本の歌ということで、伝統的な赤とんぼ等の日本の唱歌について、縦の配列で歌詞があったり、日本的な表現を大事に美しく見せていると思います。</p> <p>教育芸術社は心の歌ということで、夕焼けの写真などを美しく使い、情景を思い浮かべながら歌うような、そういった工夫がなされています。</p> <p>現場では、コロナ禍ということで、歌唱や器楽の教材をどう扱うかといっ</p>

<p>(佃委員)</p>	<p>た問題に直面しています。</p> <p>そのなかで、どういうふうに教科書を使ったらいいかという点に大変苦労すると思いますが、教育芸術社の教科書には、情景を思い浮かべるといふ点、色々な細かい情報が載っている点で、説明等の授業で使えると思いました。</p> <p>今、どうしても器楽よりも創作や鑑賞という点に重きを置いて授業をせざるをえない状況が続いていますが、教育芸術社は、創作の始まりが1年生で突然音符を扱うのではなく、リズムゲームから始まり、リズムアンサンブルというふうに、ステップアップしながら、たやすくリズムを扱うことから創作に入り、その次にメロディを扱うという工夫がされています。</p> <p>鑑賞の点でいきますと、たくさん共通教材があるんですが、例えば、魔王という大変有名で子どもたちが大好きな教材があるんですが、教育出版は絵で情景を表したりする工夫がされているんですが、教育芸術社の方は、ピアノの前奏を全て楽譜として載せているという点で、音楽が堪能な生徒にも楽しめる工夫がされています。</p> <p>また、それぞれの役割が出てくるんですが、そういった登場人物の特色についてもより分かりやすく工夫されていると感じました。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>教育出版の音楽は、歌う、創る、聞くという学びのバランスが良かったかと思います。</p> <p>レッツシング、レッツトライの部分で表現技能の説明がされており、生徒がとっつきやすいと思いました。</p> <p>教育芸術社の音楽は、表現、鑑賞のバランスが本当にうまく構成されています。</p> <p>また、アイデアの音楽、伝統の音楽にも関心がいくように、1年生の段階で取り上げてますし、音楽史、あるいは生活のなかの音楽という部分も、テーマをつけて取り上げられているのがいいと思います。</p> <p>器楽についてですが、日本の伝統楽器等が取り上げられています。</p> <p>まず、教育出版については、アイデアの音楽というのが1年生の巻末に取り上げられており、その辺りが配慮されていると思います。</p> <p>学校の意見書の中でも、教育出版は楽器演奏の写真がすごく良いと評価をされていますが、私もそうだと思います。</p> <p>教育芸術社は、先ほど佃委員がおっしゃったように、楽譜が大きくて見やすいです。</p> <p>何を学ぶかというのが非常に理解しやすくなっていると感じました。</p>
<p>竹内委員</p>	<p>音楽の一般から、まず教育出版で特に感じたのは、目標について具体的でわかりやすく表示され、世界の音楽も幅広く取り扱っています。</p> <p>また、写真等も美しく、視覚的にも工夫されているので、見やすい配列になっていると思います。</p>

<p>(竹内委員)</p>	<p>また、発展のページというのがあり、音について深い学びができるような工夫がされていると思います。</p> <p>教育芸術社は、各学年とも深めよう音楽というところで曲の表現の仕方をより深めるアドバイスがあったり、キャラクターの説明、演奏者からのアドバイス等があり、学習のポイントやヒントを示しているの、生徒が理解しやすいような配慮がされていると思います。</p> <p>また、器楽について、教育出版で特に感じたことは、ギターコードの表示が写真で見開きになっているので、見やすくわかりやすいと思いました。</p> <p>また、箏、ことの楽譜も非常に大きくて見やすいと感じました。</p> <p>教育芸術社については、学習する楽器のはじめに演奏を聴こうという説明があり、そこで鑑賞教材が紹介されているので、具体的なイメージが浮かび、学習に入りやすいのではないかと思います。</p> <p>また、打楽器の演奏の仕方も写真で具体的に表示されているので、子どもたちが取り組みやすいと思います。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>音楽の一般ですが、教育出版は、オーケストラについて、見開きでわかりやすく書かれています。</p> <p>また、目標が細かく書かれているところがいいと思いました。</p> <p>教育芸術社は、曲目の下にめあてが一文で示されているので、その曲をどういうふうに考えながら歌えばいいのかというのがわかりやすく示されていると思いました。</p> <p>器楽ですが、教育出版はギターコード表がわかりやすく、見やすくなっていると感じました。</p> <p>教育芸術社は、リコーダーの運指表が縦にあるのでプリントを置いても見やすいというのが学校意見書にも書かれており、良いと思います。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>教育出版、教育芸術社を比較すると、ページ数的に教育芸術社が一般も器楽も10ページ位多いと思います。</p> <p>そういう意味で、教育芸術社は色々な部分がバランス良く書かれていますし、器楽において、リコーダーやギターの話が先ほどありましたが、そういうところにさいている部分が異なります。</p> <p>打楽器についても4倍ぐらいのページ数をとっています。</p> <p>本市の子どもたちが興味関心を引くというところでは、自ら楽器に触れ、学習、練習していくという部分で教育芸術社の方が使いやすいと思いました。</p>
<p>佃委員</p>	<p>今回の学習指導要領の改訂では、わが国や郷土の音楽を大切に扱うことや、邦楽や和楽器について丁寧に扱うということが前回以上に強調されていますが、そのなかでも教育出版は、民謡に用いられた楽器を見開きで紹介していたり、教育芸術社は、裏表紙のところでも中学生が地元のお祭りに参加してい</p>

(佃委員)	<p>る場面を扱う等、工夫がされていました。</p> <p>教育芸術社は、能や文楽、歌舞伎についての資料も大変美しく、充実していました。</p> <p>教育出版の方は、歌舞伎について文章で丁寧に説明しているあたりが、詳しく掲載されていると感じました。</p>
植田教育長	<p>では、音楽の一般及び器楽合奏と併せてですが、皆様のご意見をまとめますと、多様で広がりがあり、深遠な音楽文化・活動についての扱いが理解しやすいという点、演奏練習のための教材編集の工夫があるということ、他のコンテンツでより深められ、広がりを持ち、興味関心を喚起するという観点から、教育芸術社がよりふさわしいと思われませんが、教育芸術社を採択することと決定してよろしいですか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>
植田教育長	<p>異議なしと認め、音楽の一般及び音楽の器楽合奏の教科書は、教育芸術社の教科書を採択することとします。</p> <p>続いて、美術についてお願いします。</p>
堀選定委員会委員長	<p>美術は3社から教科書が出版されています。</p> <p>どの教科書も、美術の目標である、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することをめざすことを踏まえ作成されていました。</p> <p>詳細は紙面をご覧ください。</p> <p>以上でございます。</p>
植田教育長	<p>それぞれの教科書を読まれてのご意見をお聞かせ下さい。</p>
竹内委員	<p>日本文教出版ですが、鑑賞の内容がバランスがよく取り上げられていると思います。</p> <p>特に1年生の屏風の美の仕掛けというところでは、実際にページを広げるとすごく迫力があって、折り曲げて鑑賞できるような工夫がされていると思います。</p> <p>A4サイズのワイド判になっているので、作品や図版が大きくて見やすく、迫力が感じられると思います。</p> <p>また、学年ごとで使用できるよう、3冊に分けられているということで、それぞれが学年に応じた内容になっているので生徒にとっても使いやすいと思います。</p>

<p>(竹内委員)</p> <p>山本教育長職務代理者</p>	<p>光村図書については、トレーシングペーパーが付属しており、教科書に直接透写するなどの実習ができたり、感じたことを記入できるようになっているので、非常に使いやすいと思いました。</p> <p>開隆堂については、目標が項目ごとに指示されているので、丁寧で生徒たちにとっても、非常にわかりやすい内容になっていると思います。</p> <p>開隆堂について、表現と鑑賞を重視するという観点から、色々な取組みが書かれていますが、1年生で人の動きの姿が4ページにわたって書かれていて、すごく生徒にインパクトを与えていました。</p> <p>学びの地図で説明をされていて、これが約6、7ページありますが、これがわかりやすく書かれていると思いました。</p> <p>美術ではパッと見たときの感動、実際に作品を見たときの感動が大きいと思いますが、開隆堂は、尾形光琳のデザイン性を説明していて、インパクトをすごく感じました。</p> <p>光村図書ですが、風神雷神を8ページにわたって特集しています。</p> <p>そして、ダヴィンチについては4ページ、北斎からジャポニズムについて約8ページ、ゲルニカについては7ページにわたって解説していますので、生徒の感動を生むような仕掛けがされていると思います。</p> <p>美しいということを、1年生から3年生まで随所にそういう観点を持ち、教科書のねらいとしていますので、特化できていると思います。</p> <p>中学生の制作の様子を写真入りで取り上げられており、身近に感じられるような仕掛けだと思います。</p> <p>日本文教出版については、竹内委員が言われたように、風神雷神、尾形光琳が屏風形式で4ページにわたって書かれているので、すごくインパクトがあると思いますし、生徒作品が多いというのがすごく良かったと思います。</p> <p>題材の初めに色々な表現に繋がる創意工夫がされているので、生徒には関心が多いところかなと思います。</p>
<p>佃委員</p>	<p>日本文教出版の表紙が素敵だと思います。</p> <p>生徒にとって見たことのある絵が写真として使われていて親しみやすいのではないかと思いますし、先ほど職務代理がおっしゃっている風神雷神や尾形光琳の見開きの絵は素晴らしいと思いました。</p> <p>同様に、開隆堂ですが、各領域の扉のページ、例えば、絵や彫刻で学ぶこと等では、草間彌生さんの作品が活動の様子とともに大きく載っていて大変インパクトがありました。</p> <p>開隆堂には学びの資料というのがありますが、例えば紙や木を切るというページでは、カッターナイフからノコギリ、ヤスリなど細かい道具まで掲載されているのに加え、木の種類が硬さまで示されており、細かい配慮だと思います。</p>

吉田委員	<p>開隆堂に関しては、佃委員がおっしゃったように基本的な用具、材料などの使い方が充実していると感じました。</p> <p>これは学校意見書にも書かれていました。</p> <p>光村図書ですが、1年生ではデッサンの書き方、ヒントが丁寧に記されていると感じました。形と材料を比べるという資料もあって、とても面白い内容になっていると思います。</p> <p>日本文教出版は、教科書が3冊になっており、学校意見書にもありますが、学年毎の発達に合わせて指導できると思います。</p>
植田教育長	<p>では、美術につきまして、皆様のご意見をまとめますと、多様で広がりがあり深遠な美術文化を扱っている点、美しさなどの体感が得られ、鑑賞をより深める工夫などがあるという観点から、日本文教出版がよりふさわしいと思われませんが、日本文教出版を採択することと決定してよろしいですか。</p> <p>（「異議なし」の声）</p>
植田教育長	<p>異議なしと認め、美術の教科書は日本文教出版の教科書を採択することとします。</p> <p>続いて、保健体育についてお願いします。</p>
堀選定委員会委員長	<p>保健体育は4社から教科書が出版されております。</p> <p>どの教科書も、保健体育の目標である、体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指すということを踏まえ、作成されてきました。</p> <p>詳細は紙面をご覧ください。</p> <p>以上でございます。</p>
植田教育長	<p>それぞれの教科書を読まれてのご意見をお聞かせ下さい。</p>
山本教育長職務代理者	<p>委員長の提案を踏まえますと、保健体育のなかで安全教育を重要視していかなければならないと感じました。</p> <p>東京書籍は心肺蘇生について5ページにわたり詳しくふれられていますし、きちんと活用していく視点にまで繋がっていると思います。</p> <p>また、中高生の関心のある、喫煙、飲酒、薬物乱用について、10ページほどにわたり扱われており、全体的に使いやすいと思います。</p> <p>大日本図書については、学びにいかそう、学習のまとめで重要な言葉をお</p>

<p>(山本教育長職務 代理者)</p>	<p>さえており、現代的な課題に対応するという編集方針のもとで、はっきりと学習のねらいがわかると感じました。</p> <p>大修館書店については、課題をつかむというのが、問いの形式になっています。</p> <p>今日の学習で統一感があって、多くの問題提起がされていると思いました。</p> <p>学研教育みらいにつきましては、各章に探求しようというのがあり、色々な問題点を出しています。</p> <p>運動スポーツの良さであるとか、自分、他人の健康や安全に配慮するという方針が出ていると考えます。</p>
<p>竹内委員</p>	<p>東京書籍ですが、発展、読み物、技能、資料などで実生活に役立つ内容がたくさんあって、充実していると思います。</p> <p>子どもたちも興味関心をもって学習できると思います。</p> <p>大日本図書では、1時間の内容のなかに、知識だけでなく、話し合ってみよう、やってみようという問いかけがあり、生徒同士の自主的な交流の場面があるので、学習が充実するかと思います。</p> <p>大修館書店では、携帯電話やスマートフォンの使用とか、睡眠等の健康問題が1年から3年までの全ての学年で取り上げられ、発達段階に応じて学習できるよう配慮されているので身につくと思います。</p> <p>学研教育みらいでは、單元ごとにキーワードとしてポイントとなる重要語句が示されていて、また、章末問題があり学習を振り返ることができるようになっているので、学習したことがより身につくよう配慮されていると思います。</p>
<p>佃委員</p>	<p>東京書籍ですが、例えば多様性であったり、いじめ、人権に対する配慮が大変できていると思いました。</p> <p>4社のなかで、他教科との関連のページも多かったと思います。</p> <p>また、章末の資料が大変使いやすく充実していると思いました。</p> <p>学研教育みらいですが、課題をつかむ、考える、調べる、まとめる、深めるという流れが分かりやすく、その後に必ずグループで話し合おうという協働的な学習に繋がっているのがいいと思いました。</p> <p>喫煙や飲酒、薬物乱用についてを学んだあとに、煙草や酒や薬物に手を出さないためという誘いを断る実習が入っていて、大変興味深いと思いました。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>東京書籍ですが、見つける、課題解決、広げるという、課題を最初に考えさせ、そこからの進め方というのがわかりやすく示されていると考えました。</p> <p>大日本図書ですが、左側に本文、右側に資料と分かれているので、とても</p>

<p>(吉田委員)</p>	<p>見やすくわかりやすいと感じました。</p> <p>心肺蘇生の仕方が見開きになっていて見やすいです。</p> <p>各章で中学校から高校への繋がりというのも示されていて良いと感じました。</p> <p>大修館書店は、いじめに対するメッセージというのが1ページにまとめて書いてあり、声掛けの仕方、その後の対応の仕方などもまとめて書いてありますので、良いと感じました。</p> <p>学研教育みらいは、性の多様性について取り上げていて、なかでもドメスティックバイオレンスなどにも注目して書いてあるのが良いと思いました。</p> <p>文章のなかに、don't や注意とか、配慮しなければならないところへの注意書きが書いてあり良いと思いました。</p> <p>また、実技の資料がとても見やすいと感じました。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>本市の子どもたちへという観点で、もう少し絞り込んだご意見をお願いします。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>子どもたちが行動する時、自転車に乗るかと思います。</p> <p>学研教育みらい、大日本図書は、自転車事故のことを結構なページをさいて詳しく記述し、考えさせています。</p> <p>大修館書店は、コラムとか、掘り下げる、課題をつかむといったところで色々な課題を扱っていますが、特にエイズについて、資料と本文で書かれているのが注目したところです。</p> <p>東京書籍は、グループでの交流活動等をさせるような仕掛けになっていますし、また、自然災害等についても、どういうふうに自分が対応しなければならないのかということを含めて取り上げてますので、総合的なバランスから東京書籍が使いやすいのではないかと感じました。</p>
<p>竹内委員</p>	<p>東京書籍ですが、学研教育みらいと同様に、單元ごとにキーワードとなる言葉が表示されているので、生徒たちにとってもインパクトがあって捉えやすいと思います。</p> <p>章の終わりに重要語句の解説が再度設けられているので、定着しやすいのではないかと思います。</p> <p>大修館書店は、見開きの2ページを1単位時間で学習できることを基本としているので、文章だけでなく、写真、挿絵や表などが効果的に配置されており、スムーズに学習しやすいと感じます。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>東京書籍に関しては、ページの問題のなかに書込みして答えられるところが使いやすいのではないかと感じます。</p> <p>安全教育も充実した内容になっていると思います。</p>

植田教育長	<p>では、皆様のご意見をまとめますと、課題発見から解決策を見いだすという協働学習を促進する点、ジェンダーやいじめ等の人権の扱い、安全教育と実生活へのブリッジができている観点から、東京書籍がよりふさわしいと思われませんが、東京書籍を採択することと決定してよろしいですか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>
植田教育長	<p>異議なしと認め、保健体育は東京書籍の教科書を採択することとします。</p> <p>続いて、技術・家庭の技術分野についてお願いします。</p>
堀選定委員会委員長	<p>技術・家庭の技術分野は3社から教科書が出版されています。</p> <p>どの教科書も、技術の目標である、技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することを目指すということを踏まえて作成されていました。</p> <p>詳細は紙面をご覧ください。</p> <p>以上でございます。</p>
植田教育長	<p>それぞれの教科書を読まれてのご意見をお聞かせ下さい。</p>
山本教育長職務代理者	<p>技術につきましては、何事にも安全教育かと考えます。</p> <p>作業の安全をきちんと生徒たちに示していくことが必要だと思います。</p> <p>開隆堂については、作業の安全を最初に3ページにわたって書いています。SDGsについても配慮していますが、東京書籍はSociety 5.0まで含め配慮していますので、すごく意図的だと思います。</p> <p>東京書籍は、実際の生徒の活動写真がすごく良かったと思います。</p> <p>土や種まき、かん水まで含め、実際の写真があって分かりやすかったと思います。</p> <p>教育図書ですが、後で言われるかも知れませんが、ハンドブックがあり、実践に活かせると思いました。</p>
佃委員	<p>東京書籍ですが、冒頭に技術の学習方法として、技術を読み取る活動、思考ツールの活用、ブレインストーミングとKJ法など、様々な技法を得たうえで、フィールドワークとインタビュー、まとめと発表に繋がるという、発表に対するこつまでが示されていて、大変流れとしてわかりやすいと思いました。技術の見方、考え方が技術の最適化というキーワードで示されていて、漫画仕立てでわかりやすく解説されているのも印象的でした。</p> <p>開隆堂ですが、技術に気付く仕掛けがあり、問題解決の学習に繋がるよう</p>

<p>(佃委員)</p>	<p>な工夫がされています。</p> <p>特に、物作りのページにはこだわりがあり、電動アシスト自転車の開発について、社会に対する物作りの使命にまで踏み込んで記述されていたり、特に写真で印象に残っているのは、秋田の国際教養大の中嶋記念図書館、美しい写真など、日本の技術という点でアピールしているのも大変よかったですと思いました。</p>
<p>竹内委員</p>	<p>東京書籍で良いと感じたことは、ページの下に技術の工夫というコーナーがあり、色々な細かなことを説明しているの、生徒たちにとってより興味を上げる機会になると思います。</p> <p>教育図書については、生徒の発達段階に応じた文章の量とわかりやすい表現、重要な語句について青色の太字で示されているので、インパクトがあって理解しやすいと思います。</p> <p>また、先ほど話がありましたが、技術ハンドブックがあり、基礎的な技能等がまとめられているので、授業だけでなく家庭でも役立つ資料だと思います。</p> <p>開隆堂ですが、東京書籍と似たようなことですが、ページの角に豆知識で用語解説や技術の工夫などが詳しく説明してあるので、子どもたちがより詳しく知ることができる良いコーナーだと思います。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>東京書籍ですが、50ページに大きな写真でやり方が載っていて、そのやり方のところにリンクとページ数が書いてあります。</p> <p>そのページ数をたどって行って繋がるという工夫がされていて、とてもわかりやすかったです。</p> <p>プログラミング教育のフローチャートも分かりやすいと思いました。</p> <p>教育図書ですが、ページの右側がインデックス方式になっていて、ページを探すのにとても分かりやすくなっていると思います。</p> <p>ハンドブックが付いており、それに全部資料が入っているので、卒業してからも有効に使えるのではないかと感じました。</p> <p>開隆堂ですが、生物育成技術の歴史という年代別の年表が書いてあって、それも面白い試みだと感じました。</p>
<p>佃委員</p>	<p>今回の改訂では、プログラミング教育の部分が大変注目されていますが、東京書籍では、情報の技術の最初の1章で情報のデジタル化、情報ネットワークについて扱い、情報モラルや知的財産権、セキュリティ対策等、詳しく扱われています。</p> <p>第2章では、プログラミング教育が扱われていて、コンテンツを学習した後、自分で課題を設定して問題解決へという流れまで、常に問題を発見して、課題を設定しようという姿勢で計測や制御システムについて研究していく流れが大変わかりやすく、面白そうだと思います。</p>

(佃委員)	<p>巻末のプログラミング手帳も使えるのではないかと思います。</p>
山本教育長職務代理者	<p>プログラミング教育の点でいいますと、開隆堂は巻末に資料がついてます。内容的には、第4編のところにもプログラミング教育についてふれていると思います。</p> <p>教育図書については、特集ページを組むという形で対応されています。</p> <p>東京書籍については、佃委員が言われたように、第4編のところに情報の問題として意識的に取り入れられていると感じました。</p> <p>それ以外の部分で、開隆堂ですが、日本の各地の伝統マップというのを巻末に入れることによって、日本の伝統技術がどういうふうに進化しているのかが分かりやすく書かれているのが良い工夫だと感じています。</p>
植田教育長	<p>では、皆様のご意見をまとめますと、協働学習を通して課題設定～改善のプロセスと学習が深まる点、外部コンテンツが活用できる点、情報通信技術の基礎原理や、ソフトウェア・プログラミングについて詳しくふれている点、産業を支える基盤技術についてわかりやすく解説している観点から、東京書籍がよりふさわしいと思われませんが、東京書籍を採択することを決定してよろしいですか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>
植田教育長	<p>異議なしと認め、技術・家庭の技術分野は東京書籍の教科書を採択することとします。</p> <p>続いて、技術・家庭の家庭分野についてお願いします。</p>
堀選定委員会委員長	<p>技術・家庭の家庭分野は3社から教科書が出版されています。</p> <p>どの教科書も、家庭の目標である、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することをめざすということを踏まえ作成されていました。</p> <p>詳細は紙面をご覧ください。</p> <p>以上でございます。</p>
植田教育長	<p>それぞれの教科書を読まれてのご意見をお聞かせ下さい。</p>
吉田委員	<p>東京書籍ですが、防災手帳が作れる点が興味深かったです。</p> <p>それと、幼児の視界体験ができるというものがついていて、一つの資料としてとても良いと思いました。</p> <p>授業の進め方が、調理、消費、幼児教育という流れになっていて、調理か</p>

<p>(吉田委員)</p>	<p>らはじめるのは楽しく授業に入れて良いと思いました。</p> <p>教育図書ですが、調理方法の表示の仕方がわかりやすいと思います。</p> <p>裏表紙に暮らし中のマーク・ラベルが一面に載っているのがとても面白いと思いました。</p> <p>幼児教育、調理、消費という流れになっていました。</p> <p>開隆堂ですが、調理方法が写真つきで大変わかりやすくなっていました。</p> <p>幼児教育、調理、生活消費という流れになっていたの、東京書籍だけ流れが違うんだと感じました。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>開隆堂ですが、編集方針が他者との共生ということで、人権とか自然と共生しているところが述べられていますので、わかりやすい編集と思います。</p> <p>ジェンダー、LGBTについて、どの会社も取り上げていますが、その部分について豊富な事例を書かれています。</p> <p>また、SDGsをすごく意識されているのがよく感じられます。</p> <p>さらに、調理例の写真等がすごく良かったと思います。</p> <p>教育図書ですが、同じような観点でいいますと、男女共同参画社会というのをコラムに取り上げてまして、男女の役割や服装など、イラストや写真で偏らない扱いの仕方をしていたり、外国籍の人たちの生活にふれている部分が特筆すべきことと思います。</p> <p>東京書籍ですが、今言われたように、編集の順番が他社と異なり、家族の問題が一番最後になってます。</p> <p>しかし、これについては調理から入ってくることで子どもたちにとって入りやすいのではないかと思います。</p> <p>全体のまとめとして、家庭の学習を終えてがまとめとして良かったかなと思いますし、今日的な課題として、防災、環境、SDGsがちりばめられており、使いやすい教科書と思いました。</p>
<p>佃委員</p>	<p>開隆堂ですが、1枚の写真から気づきを促し、授業に導入していくというインパクトがある工夫がありました。</p> <p>キャリア教育の部分で18人からのメッセージというのがあったのですが、1つ1つ読むだけで自分の生き方まで考えられるような工夫がされていました。</p> <p>生活に活かそうというページは、話し合ってみようという部分と相まって、子どもたちがグループで学んだことをさらに深めて学習できる工夫があると思いました。</p> <p>東京書籍は、課題を発見して、計画して、実践するという3つの学びのサイクルが示されています。</p> <p>これについては、問題解決をしていく道筋について深く考えを働かされる部分で大変良いと思いました。</p>

(佃委員)	<p>食の調理実習の部分では、和食の基礎を特に丁寧に扱っていると思いました。</p> <p>全国の郷土料理を紹介されている部分は大変良いと思いました。3R～SDGsの流れで持続可能な消費生活をめざしてという部分は、生徒にわかりやすいのではないかなと思いました。</p> <p>同じく開隆堂でも、SDGsに関し、丁寧に扱っているというふうに思います。</p>
竹内委員	<p>開隆堂で良い思ったところは、安全に気をつける場面で安全マークという形で注意点を示しているので、事故防止に関して気をつけるよう配慮されていると感じました。</p> <p>教育図書では、実習の作業がよく分かるよう、大きな写真が多く、ガスコンロの使い方を火加減マークで示し、点火、消火のタイミングをわかりやすく表示していると思いました。</p> <p>東京書籍では、専門的な用語に注釈を付け、解説を補足されているので、難しい内容でも生徒たちにわかりやすいと思います。</p> <p>パラパラ漫画を導入し、生徒の興味関心を引き出すような、学習のきっかけになる仕掛けがあり、写真が豊富であるとか、巻末のグラフ、例えば、防災手帳であるとか、子どもの視覚体験等も充実しているので、子どもたちが興味をもって学習できると思います。</p> <p>生活メモというのがありまして、知識のメモが実際の生活に役立つ内容になっているので、家庭でも使えると感じました。</p>
吉田委員	<p>東京書籍は中学生としての自立に注目して書いてありまして、中学生が家庭のなかでできること、そういうことを中学生の視点で書いてあるところがとても印象的でした。</p>
佃委員	<p>東京書籍の一番最初の安全のページで、手の洗い方まで書いているのが大変丁寧だと思いました。</p> <p>それから、家族との関わり、地域での協働については、まとめの活動でロールプレイングが取り入れられており、実際に自分がその場に立ったらという視点で自分事として考えられるのが大変良いと思いました。</p>
植田教育長	<p>では、皆様のご意見をまとめますと、家庭、社会、地域と自らの関わりについて考えるという点、家庭等ですぐに実践できるようなサポートコンテンツが充実しているという観点から、東京書籍がよりふさわしいと思われませんが、東京書籍を採択することに決定してよろしいですか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>

植田教育長	<p>異議なしと認め、技術・家庭の家庭分野は東京書籍の教科書を採択することとします。</p> <p>続いて、英語についてお願いします。</p>
堀選定委員会委員長	<p>英語は6社から教科書が出版されています。</p> <p>どの教科書も、英語の目標である、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することをめざすことを踏まえて作成されていました。</p> <p>詳細は紙面をご覧ください。</p> <p>以上でございます。</p>
植田教育長	<p>それぞれの教科書を読まれてのご意見をお聞かせ下さい。</p>
吉田委員	<p>光村図書の英語の教科書を見させていただいて、発音の仕方、母音等が丁寧に書いてあると思いました。</p> <p>リスニングに繋がる発音の仕方等、重点的になっているのがとても良いと思いました。</p> <p>三省堂は、付録がとても充実していて、基本文のまとめ、エアメール、単語表、会話の表現、Eメールの扱い等、とても良い付録だと思いました。</p> <p>教育出版は、赤のシートがついていて、自主勉強のやり方が学べると感じました。</p>
佃委員	<p>今回は小学校で英語が教科化されて初めての教科書採択となります。</p> <p>今、現場では、先生方がオールイングリッシュの授業を求められ、聞くこと、話すこと、また、話すことがやりとりと発表の2つに分かれ、さらに読むこと、書くことという五領域をバランスよく授業するという点で大変ご苦労されていると思います。</p> <p>そのなかでどの社もバランスよく作られていますし、題材は持続可能な社会の実現に向けたものということで、大変丁寧に扱われています。</p> <p>1年生の教科書はどの社も小学校で慣れ親しんだ表現や活動を通じて学習ができるよう工夫されていました。</p> <p>東京書籍は、縦に5センチほど長い教科書で、3年生の最初の見開きのページでSDGsをしっかりと掲載し、教科書で扱う単元を明確に明示されています。</p> <p>効果的に読解ができるように、ラウンドに分け、ラウンド1では概要理解、ラウンド2では細部理解、ラウンド3では深い読みや感じたことを書く等、</p>

<p>(佃委員)</p>	<p>活動へ繋げる工夫がされています。</p> <p>単元はじめのプレビューで、新出文法を音声や動画で提示されているのがわかりやすいと思いました。</p> <p>また、小学校の単語セクションが設けられているので、これは三省堂も一緒ですが、1年生の導入で使いやすいと思います。</p> <p>開隆堂は、Scenesが漫画形式で掲載され、画期的だと思います。</p> <p>これまでの文字や音声だけの導入よりも、漫画にすることで苦手な生徒がその場面の状況を推測して入ることができる点が大変工夫されていると思いました。</p> <p>文法の使用場面や状況が明確ですし、英語の仕組み等に繋ぎやすいと思います。</p> <p>さらに活気的なのは、Retellという学んだことを自分の言葉で説明しなおす活動にそれぞれ1ページほど割いていて、特に2、3年生では、自分の考えを発表する場面に繋がり、今後の入試でスピーキングテストを導入された時のために、大変力をつけられると思いました。</p> <p>三省堂は、リードのページで読解のポイントを説明しており、苦手な生徒も取り組めるよう工夫されています。</p> <p>巻末の付録で会話を進める表現やロールプレイングシートなど、即興的な会話のやりとりができるページがあって、学校意見書にもあったと思いますが、力強い教材が揃っており、キング牧師のI have a dreamとか、こういったあたりがインパクトがあると思いました。</p> <p>教育出版は、最後のページにアクションカードが付録についていて、話すトピックが載っているので、即興での会話だとか説明したりするのに使いやすくなっています。</p> <p>巻末のActivities Plusでは、即興のチャットとか、スピーチの土台となるQAが赤い暗記シートと一緒にあるので、苦手な生徒への配慮があると思いました。</p> <p>光村出版は、帯活動で使えるLet's Talkがすごく使いやすいと思いますし、海外で働く日本人、日本へ来た外国人を紹介するところに取り組みやすい工夫がされていました。巻末のStory Retellingは、本文読解の後の活用として、イラスト、キーワードをヒントに自分の言葉で表現するための発展活動として使えると思いました。世界がもし100人の村だったらというのが取り扱われているのが良いと思いました。</p> <p>啓林館は、単元の最後にmore informationがあつて補足説明や他国の文化の紹介があり、単元の最後にまとまった英文を話したり、書いたりする際に活用できるのが良いと思いました。</p>
<p>竹内委員</p>	<p>東京書籍は各ページにTool Boxが設けられていて、生徒の表現活動に使える語彙がたくさん紹介されていたり、また、巻末にあるWord R</p>

<p>(竹内委員)</p>	<p>oomにさらに多くの語彙や表現があるので、生徒にとって非常に使いやすいように配慮されていると思いました。</p> <p>また、小中連携の接続を重視しており、本文の下に小学校で習った単語があるので、子どもたちがわかりやすいと感じました。</p> <p>三省堂について、言語活動で生徒の身近な暮らしに結びつく内容が多く設定されているので、親しみやすいと思います。</p> <p>例えば、自己紹介、手紙、メールなど、自分たちが扱っていることを学習できるので、親しみやすいと思います。</p> <p>光村図書ですが、Unit毎に具体的な目標設定がされているので、生徒が目標をもって学習しやすいと思いました。</p> <p>各Unitの本文では、4人の中学生の出会い、さまざまな出来事を経験しながら成長していくストーリーを柱に構成しているので、生徒たちが非常に親しみやすい内容になっているのではないかと思います。</p> <p>啓林館についても、同様に小中連携を意識した配列、内容で構成されており、登場人物も国際性に富んでいるので興味深い内容になっていると思います。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>小学校との関連というところは、各社ともよく考えられていると思います。</p> <p>東京書籍ですが、1年生では英語を使おうということを考えて、また、3年生では接続可能な世界を作ろうという観点で、3年間を通じて一環したテーマになっていると思います。</p> <p>そのため、話題が非常に豊富で基本的なことも多くて使いやすい教科書だと思います。</p> <p>学校意見書、選定委員会の答申にありますように、パフォーマンス評価がしやすいという観点、先ほど竹内委員が言われたUnit毎の目標がしっかりしているというところで使いやすい教科書だと思います。</p> <p>開隆堂につきましては、Our Projectというのを中心に沿えた構成になっていて、1～3年生を通じ、パフォーマンス活動に当なページ数を割いているので使いやすいと思いますし、先ほど触れられたScenesには漫画を導入しているというのが新鮮に感じました。</p> <p>扉の目標、Scenes、Think、Interact、英語のしくみで整理するという5つの構成で勉強しやすいですし、最後のInteractのところ自分で表現するのに辿り着けると思いますので、そういう配慮がよくわかりますし、英語のしくみで文法のまとめをしているので使いやすいと思いました。</p> <p>三省堂については、先ほども出ましたが言語活動が充実しています。</p> <p>特に多様性を扱うところが豊富で、現代の問題、ジェンダーフリーの問題、中国、インド、アフリカ出身者のことを扱い、豊富な題材で良かったと思います。</p>

<p>(山本教育長職務 代理者)</p>	<p>教育出版ですが、各ページにゴールという形で目標が入っているのが良いのと、題材に写真はないが、関心を呼ぶような多様な題材が入っているところがとつきやすいし、グループで共同して課題を追求していくという取り組みがありますので、グループの活動に活かせると思います。</p> <p>新しい人権課題や環境問題を扱う部分が大変配慮された教科書だと思います。</p> <p>光村図書については、英語を使うことに観点を置いており、巻末にCAN-DO Listが付いていたり、世界の中学生や文化を1～3年生を通じ取り上げるのが特徴と思います。</p> <p>先ほど佃委員もふれられてましたが、世界がもし100人の村だったらという設定も新鮮で良かったと思います。</p> <p>啓林館は、スモールステップによる学習場面が設定されていますので、色々な層の生徒に取り組みやすいと思います。</p> <p>テーマプラスユニットでユニットの目標を置いていますので、そのような部分で取り扱いやすいですし、構成が、読んで考える、具体の場面設定、Let's Talkでコミュニケーションをとる、Let's lessonで情報を活用し、最後にターゲットで文法等をまとめるというように、一つのユニットが6項目ぐらいで構成されており、分かりやすいと思います。</p> <p>今後期待される社会の姿ということで、Society 5.0などを意識しているのが、他社との共存であるとか情報処理等に配慮されていると思いました。</p> <p>1年生は先ほど言いましたように小学校との連携を考えて、一つのユニットが短いのがとつきやすいですし、アメリカの学校など、中学生が興味を引きやすいところを取り上げているのが良いと思います。</p> <p>そういう意味でいうと、啓林館は会話表現を重要視していると思います。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>光村図書の1年生の教科書は、小学校の学習からスムーズに移行しやすい、とても入りやすい内容になっていると思いました。グループ学習も入っていて、楽しく学習できると感じました。</p> <p>私が良いと思ったのは開隆堂で、読むことややり取りが多く、コミュニケーション活動が活発にできるのではないかと感じます。</p> <p>後ろの方に文の書き方が大きく丁寧に書かれているので、どのような生徒にも分かりやすく表示されていると思います。</p> <p>1年生のアクションカードが巻末にあって、英語が苦手な生徒にも有効に使えるのではないかと感じました。</p>
<p>佃委員</p>	<p>職務代理もふれられていたプロジェクト活動ですが、三省堂も教育出版も英語でのまとめの活用が扱われています。</p> <p>開隆堂も含めて比べてみますと、例えば三省堂でしたら3年生で日本限定</p>

<p>(佃委員)</p>	<p>アイスクリームを提案しよう、国際交流イベントに出展しよう、教育出版でしたらコマーシャルを作って発表しよう、英語で卒業スピーチをしよう、開隆堂は3年生で誰かになりきって記者会見が開かれるとか、あなたの街を世界にPRしようと、どの教科書もリアリティをもって子どもたちが発表できるようなテーマ設定がされていて、すごく良いと思いました。</p> <p>さらに開隆堂は、吉田委員もおっしゃっていますが、話すこと、やり取りがすごく多く、選定資料の分量も自分の考えを表現するというのも、どの社よりもたくさん扱われていると思いましたし、考えを整理発展させるための思考ツールが大変行き届いていると思いました。</p>
<p>竹内委員</p>	<p>開隆堂については、会話や発表の活動が充実していると思いました。</p> <p>特に、ペア、グループでの会話、発表活動などが詳しく設定されていて、各学年とも3つのOur Projectで4技能、5領域を総合的に扱いながら生徒同士の学び合いができるように配慮されていて良いと思いました。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>開隆堂は構成がしっかりしていますし、パフォーマンス活動等、英語で質問するなどの目標がしっかりしていますので、どこまで理解し、自分のものにしていくという部分で相当高度な技術がいるのではないかと考えます。</p> <p>三省堂は、すごく見やすい内容で題材が豊富です。</p> <p>本文と構成、扉から最後のまとめまでの構成もしっかりしており、本文が分けられてわかりやすく、とっつきやすいと思います。</p> <p>開隆堂か三省堂か、四條畷市にふさわしいのはどちらか迷っています。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>皆様のご意見をまとめますと、4技能、5領域を総合的に高める構成、コミュニケーション能力を高める工夫、とりわけRetellとInteract、文法の学び方の工夫、さらに、Performance Activityの反映、Project Based Learningへの発展という観点から開隆堂がよりふさわしいと思われませんが、開隆堂を採択することと決定してよろしいですか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>
<p>植田教育長</p>	<p>異議なしと認め、英語は開隆堂の教科書を採択することとします。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>続いて、道徳についてお願いします。</p>
<p>堀選定委員会委員長</p>	<p>道徳は7社から教科書が出版されています。</p> <p>どの教科書も、道徳の目標である、よりよく生きるための基盤となる道徳</p>

<p>(堀選定委員会委員長)</p>	<p>性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てるということを踏まえて作成されていました。</p> <p>詳細は紙面をご覧ください。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>それぞれの教科書を読まれてのご意見をお聞かせ下さい。</p>
<p>佃委員</p>	<p>道徳はおそらく委員の皆さんは2年前に採択したところという思いでいらっしゃると思います。</p> <p>平成26年に、私たちの道徳というものが出まして、読み物教材が文部科学省から出たりして、それを大事に道徳の授業をどう作るのかというのを苦慮して進めていただいたと思います。</p> <p>四條畷市も本当に同じだと思います。</p> <p>ようやく全面実施から今年の1年間、評価に取り組んだり、色々な授業を35時間どう進めていくのかということに取り組んでこられたので、授業の様子、反省をもとに学校意見書なども読ませていただきましたけれども、どの教科書にもいじめのことであったり、情報モラルであったり、そういったあたりも扱われているので、どの社についても主体的、対応的で深い学びができるのではないかと思います。</p> <p>特に廣済堂あかつきは、読み物教材は読むだけで心を揺さぶられるものなんですけれども、そういった教材が相変わらずたくさん扱われていると思いましたし、こちらは別冊のノートにも対応の文章があって、そこからまとめて感想にもっていくという資料集として使いやすいと思うのですが、教える側の技術が大変必要とされる教科書だと思いました。</p> <p>日本文教出版については、教科書のなかの発問がすごくわかりやすいと思いましたし、よりよい社会と私たちのところでは、キャリア教育まで意識された内容になっていたり、ノートがついているんですが、今までの発問が削られることでより自由度が高くなりましたし、中段のところでは、自分の意見を書いて右側に友達の意見を書くというような、仲間の意見から自分の考えを深めていくような工夫もされていたと思いました。</p> <p>教育出版は、学びの道しるべのところで深める質問があって、道徳的な諸価値を高める問いが指導する側にとって深めやすいのではないかと思います。</p> <p>教育出版の後ろのワークシートのところでは、学期ごとのまとめと学年末のまとめがあります。</p> <p>大変シンプルな作りになっているんですが、ためになった教材を3つ選びましょうという活動の後で、1つを選んでその理由を書かせる点が自分の思</p>

<p>(佃委員)</p> <p>山本教育長職務代理者</p>	<p>考を深めるという点で大変良いと思いました。</p> <p>道徳は、委員長が言われたように道徳性を養うことが一番の観点で、こうあるべきだというようなことを教えるのではなく、考えさせて自分の道徳観を育成するのが大事と考えます。</p> <p>東京書籍は、自分の考え方を最初につぶやいていて、考えて自分を見つめるという進め方になっていますので、思考力を養うためには、すごく良かったと思います。</p> <p>道徳性を養おうと思ったら、いじめとか生命について考え方をしっかりと持たないといけませんが、この部分に重点を置かれているのが東京書籍と思います。</p> <p>集団とか社会的な関心に重点を置き、自分のことであるとか対人関係と自然を比べると、5対2ぐらいの割合になっていましたので、そういうところからも集団社会を育てるということを考えられていると思いました。</p> <p>教育出版については、学びの道しるべがあって、最後の巻末の偉人伝で、こういう生き方をしなさいという指示ではなく、こういうふうに生きたら偉人はこうなりましたということが記載されていました。</p> <p>光村図書については、教科書の構造が自分で考えて広い視野で学び、最後に学び合いをしましょうという構成で、道徳性を養うということがわかりやすいテーマで書かれています。</p> <p>特に、いじめ問題については各学年とも10～12ページほど取り上げ、非常にわかりやすいし、読み物もすごく多いと思いました。</p> <p>ただし、そこから生徒自身が自ら考え、自分で学びというところに繋げていく教師の力、教育力が問題と思います。</p> <p>日本文教出版は、プラットフォームで、いじめと向き合ってより良い社会を作るために自分が何ができるのか、特に勤労の問題まで含めてふれられている部分がありますので、生徒自身が将来にわたって考えられると思います。</p> <p>また、先人に学ぶということで、具体的な人物に言及し、フィクションでなく事実に即しているところが考えやすいと思いました。</p> <p>道徳ノートは、廣濟堂あかつきの別冊と同じかと思いますが、こうあるべきというところから脱却して、生徒自身が自分自身の考えを書けるようになっていますので、これも使い方次第と思います。</p> <p>学研教育みらいですが、仲間の部分をすごく大事にしており、生命といじめについては1～3年生ともにたくさん扱っていますので、生命尊重といじめ対応というところがしっかりしていると思います。</p> <p>廣濟堂あかつきにつきましては、佃委員とほぼ同意見ですが、決まりきった答えが出ないような問いがあるというのが、すごく良かったと考えます。</p> <p>ただし、子どもたちが相当しっかり考えていかないと使いにくい部分がありますので、子どもたちが読んで、自分の将来のことを考えて、自分自身の</p>
--------------------------------	---

(山本教育長職務
代理者)

考えをまとめていくという非常に難しい使い方になるとは思います。

これも別冊が40ページほどありますが、どういうふうに使っていくかが問題ですし、別冊のなかにさらに25テーマの教材が入ってますので、どう考えていくかが一つの大きな課題と思います。

日本教科書ですが、自分の身の回りの問題意識を持つということで、道徳性を育成する部分として、普遍的な心を養うようになっています。

全体に非常にシンプルでテーマの選択がすごくバランスが良いと思っています。

言い忘れましたが、廣済堂あかつきにつきましては、4観点のバランスがすごく良かったと思います。

竹内委員

東京書籍ですが、道徳の心構えのようなものとして、話し合いの手引き、道徳はこんな時間というページを設けて、話し合いの具体的な手順であるとか、自分の考えを広げたり深めたりする活動例をたくさん示しているので、子どもたちが学習しやすいのではないかと思います。

教育出版では、主教材とは別にやってみようというコーナーを設け、グループでの話し合いであるとか、劇風の活動例を示して、生徒たちが興味をもって学習できるように配慮されていると思いました。

光村図書ですが、一年間を3シーズンに区切って学校生活の流れと生徒の一年間の成長を意識、考慮した構成になっているので、自分の生活に合うような形で展開されおり、使いやすいと思います。

日本文教出版は、いじめ、生命尊重に力を入れてると感じます。

特に、学期に1回設定し、もちろん年間を通じて取り組み、全学年で取り上げられているので、人間としての基本的なあり方、生き方について考え、発達段階に応じて展開でき、考えが深められるように配慮されていると思います。

道徳ノートが別冊になっているのがよし悪しがあるわけですが、自分の考えを深めたり、学びの振り返り、あるいは心の成長の記録として残りますので、心の財産にもなるかと思っています。

また、一つの自己評価に繋がっていくのではないかと思います。ただ、限られた時間ですので、果たして授業のなかでどう反映されるのか疑問が残るわけですが、有効に使えれば良いと思います。

学研教育みらいにつきましては、夢に向かってともに輝くとか、地球と地域の未来のためにというようなこれからの課題について、全学年ともユニット学習で取り上げているので、連続性があり、3年間でより深めることができるように配慮されていると思います。

また、巻末に学びの記録がついていまして、学期毎の振り返りができるようになっているので、自己評価にも繋がるし、記録としても残るのではないかと思います。

(竹内委員)	<p>廣濟堂あかつきですが、教材の最後に話し合いコーナーがありまして、ペアあるいはグループでの話し合い活動を展開するので、発展的な学習のてがかりになるかなと思います。</p> <p>日本教科書ですが、もっと知りたい、込められた想いなどのコラムがあり、自分の考えを広めたり深めたり、また、課題について考えることでより深い学習ができるのがより工夫されていると思います。</p> <p>また、読み物を中心としているので、子どもたちが興味を持って学習でき、考えを深めることができるようになっていると思います。</p>
吉田委員	<p>全体的に各社とも教材の文章の長さがちょうど良く収められていると思いました。</p> <p>その点では、廣濟堂あかつきは少し文章が長かったという印象を受けました。</p> <p>東京書籍は、結果を決めつけずに考えさせるという内容になっていて、とても良かったと思います。</p> <p>橋の上のオオカミが小学校の振り返り学習ということで、自分を見つめ直すという点で良い題材になっていると思います。</p> <p>その点は、光村図書も同じ題材を使っていて、小学校の振り返りができるようになっていました。</p> <p>学期毎に分かれているので、色々な点でまとまって学習ができるのではないかと思います。</p> <p>広げようというコーナーで、ユニバーサルデザインについてわかりやすく書いてあるところも印象的でした。</p> <p>教育出版は、1年生の46ページにいじりといじめという題材でありまして、いじめについてわりと取り上げることが多いのですが、いじりについても取り上げているという点で注目しました。</p> <p>日本文教出版は道徳ノートがついており、自分の意見を書き込みやすくなっていますし、生徒も先生も発問を考えられるという点で使いやすくなっていると考えました。</p>
植田教育長	<p>より本市の子どもたちにふさわしいという点で、絞り込んだご意見を願います。</p>
山本教育長職務代理者	<p>本市の子どもたちに道徳性をつけていくと観点で言いますと、色んなことに対しての興味、関心から自分のことを考えて、将来に結びつけていくことが大事だと思います。</p> <p>そういう点で、光村書店は目次等に分かりやすい内容の説明があり、最終的にこの教科書がめざす1年生、2年生、3年生の姿になっていますので、見通しがもてると感じました。</p>

<p>(山本教育長職務 代理者)</p>	<p>日本文教出版は先ほど言いましたが、いじめに向き合い、良い社会へということ、自分が勤労、先人に学ぶというところがうまく課題に向き合えるようにしていると思います。</p> <p>道徳ノートの別冊をうまく使うと効果的であり、先ほど竹内委員が言われたように、中学生時代の記憶に残るところが良いと思います。</p> <p>廣濟堂あかつきについては、私自身、心が動く部分があるんですが、中学生には少し高度な視点、本来はそうあるべきなんですが、自分の考えを読んでもまとめていくのが今すぐには少し高度かなという印象を持っています。</p>
<p>佃委員</p>	<p>今の話題に上るいじめのなかでも、特に気づかないといけないのは、ネットによるいじめと思います。</p> <p>小学生からスマホ等を扱うようになっていきますし、そのような点では、日本文教出版は、1～3年生までいじめについて扱う途中で必ず情報モラルも丁寧に扱っていますし、SNSでのいじめ、その害についても取り上げている部分があり、とても使えると思いました。</p>
<p>竹内委員</p>	<p>日本文教出版のなかで、各所にプラットフォーム、コラムが設けられていて、多種多様な考えを知ることができるので、卓越した内容だけではなく、非常に幅広く考えたりするので学習の幅が広がるのではないかと思います。</p> <p>日本教科書は、各教材の最後に考え、話し合ってみよう、そして深めようというコーナーがあり、生徒たちが自分の考えや問題意識を持ちながら深められるよう、最後のまとめが配慮されていると感じました。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>では、皆様のご意見をまとめますと、多角的、多面的な視点の尊重と人間としての生き方を深める、いじめ、人権、そしてその先にキャリア、こういった複合的な捉え方、さらに学びのふり返りに活用できる自由度の高い補助教材の添付という観点から、日本文教出版がよりふさわしいと思われませんが、日本文教出版を採択することと決定してよろしいですか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>
<p>植田教育長</p>	<p>異議なしと認め、道徳は日本文教出版の教科書を採択することとします。</p> <p>これで、中学校における教科書の採択が終了しました。</p> <p>ここで改めて、採択の結果を発表させていただきますが、その前にご意見はありませんか。</p> <p>(「なし」の声)</p>

<p>植田教育長</p>	<p>ないようですので中学校の採択結果を発表します。</p> <p>国語については、光村図書出版株式会社の教科書を採択いたします。</p> <p>書写については、株式会社三省堂でございます。</p> <p>社会（地理的分野）については、教育出版株式会社でございます。</p> <p>社会（歴史的分野）については、教育出版株式会社でございます。</p> <p>社会（公民的分野）については、日本文教出版株式会社でございます。</p> <p>地図については、株式会社帝国書院でございます。</p> <p>数学については、株式会社新興出版社啓林館でございます。</p> <p>理科については、教育出版株式会社でございます。</p> <p>音楽（一般）については、株式会社教育芸術社でございます。</p> <p>音楽（器楽合奏）については、株式会社教育芸術社でございます。</p> <p>美術については、日本文教出版株式会社でございます。</p> <p>保健体育については、東京書籍株式会社でございます。</p> <p>技術・家庭（技術分野）については、東京書籍株式会社でございます。</p> <p>技術・家庭（家庭分野）については、東京書籍株式会社でございます。</p> <p>英語については、開隆堂出版株式会社でございます。</p> <p>道徳については、日本文教出版株式会社でございます。</p> <p>以上が中学校の採択結果でございますが、皆さんご異議はございませんでしょうか。</p> <p>（「なし」の声）</p>
<p>植田教育長</p>	<p>ないようですので、令和3年度に、四條畷市立中学校で使用する教科書についての審議を終了します。</p>
<p>木村教育部次長兼 学校教育課長兼教 育センター長</p>	<p>令和3年度に、四條畷市立小学校で使用する教科用図書の採択につきましては、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条に、義務教育諸学校において使用する教科用図書については、政令で定めるところにより、政令で定める期間、毎年度、種目ごとに同一の教科用図書を採択するものとあります。</p> <p>この法の中でいう政令で定める期間とは、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第15条（同一教科用図書を採択する期間）に法第14条の規定により種目ごとに同一の教科用図書を採択する期間は、学校教育法附則第9条に規定する教科用図書を採択する場合を除き、四年とするとあります。</p> <p>したがって、小学校の教科書については、令和2年度と同一の教科書を採択しなければならないことをご報告いたします。</p>

植田教育長	<p>確認等、よろしいでしょうか。</p> <p>(「なし」の声)</p>
植田教育長	<p>これをもって、議案第22号 令和3年度使用四條畷市立学校教科用図書 の採択についての審議を終了します。</p> <p>本日以後、事務局のほうから大阪府教育委員会に対して報告をあげて いただきます。</p> <p>それでは、次に移ります。</p> <p>報告第16号 四條畷市立なわてふれあい教室条例施行規則の一部を改正 する規則の制定についてを議題といたします。</p> <p>事務局から本件の内容説明を願います。</p>
阪本教育部次長兼 青少年育成課長兼 主任	<p>報告第16号四條畷市立なわてふれあい教室条例施行規則の一部を改正す る規則の制定についてご説明申し上げます。</p> <p>四條畷市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の改正により、本年 度の夏季休業日が8月1日から18日の期間に短縮されました。</p> <p>しかしこの間、なわてふれあい教室を利用した場合、月の15日を超えて の利用となるため、四條畷市立なわてふれあい教室条例施行規則に定める減 免規定が適応できなくなるため、令和2年度の夏季休業日に限り、なわてふ れあい教室利用料等に関する減免規定を改正いたします。</p> <p>恐れ入りますが、新旧対照表をご覧ください。</p> <p>附則といたしまして、利用料の減免に関する特例措置及び補食費及び教材 費の減免に関する特例措置を定めることとし、それぞれ、令和2年8月に限 り、15日以前を18日以前としております。</p> <p>以上、四條畷市立なわてふれあい教室条例施行規則の一部を改正する規則 の制定につきまして、ご報告させていただきます。</p>
植田教育長	<p>本件について、質疑等ございましたらどうぞ。</p> <p>(「なし」の声)</p>
植田教育長	<p>それでは、次に移ります。</p> <p>報告第17号 四條畷市青少年指導員の委嘱（追加）についてを議題とい たします。</p>

<p>植田教育長</p> <p>阪本教育部次長兼 青少年育成課長兼 主任</p>	<p>事務局から本件の内容説明を願います。</p> <p>報告第17号 四條畷市青少年指導員の委嘱についてご説明申し上げます。</p> <p>令和2年4月の教育委員会定例会報告第11号におきまして報告いたしましたが、欠員となっていた地区の代表より適任者の推薦があったため、四條畷市青少年指導員に関する要綱第7条に基づき、適任者1名を委嘱したことをご報告させていただきます。</p> <p>地区、氏名につきましては、記載のとおりでございます。</p> <p>なお、現時点におきまして、2地区で青少年指導員が不在となっております。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>本件について、質疑等ございましたらどうぞ。</p> <p>(「なし」の声)</p>
<p>植田教育長</p>	<p>それでは、その他の案件に移ります。</p>
<p>板谷教育総務課長</p>	<p>通学費補助の臨時的措置に関し、1点共有させていただきます。</p> <p>本市では、平成30年度の旧四條畷南中学校休校に伴い通学が遠距離化し、交通機関の利用が必要と認められる生徒の保護者に対し、四條畷市立四條畷南中学校の休校に伴う通学費補助を交付しています。</p> <p>これについて、近鉄バスを選択の場合、1月あたり500円の自己負担をいただいておりますが、先の新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和2年4月は1か月を通し1日も登校日がなかったことから、保護者に代わり、市が近鉄バスあて定期券の払い戻し手続きをおこなうとともに、4月分の定期券購入者に対し、今回に限り全額補助させていただくことといたしました。</p> <p>ついては、令和2年6月29日付けで、四條畷市立四條畷南中学校の休校に伴う通学費補助金交付要綱を改正し、現在、手続きを進めておりますので、この場で共有させていただきます。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>確認、質問等ございましたら、お願いします。</p> <p>(「なし」の声)</p>
<p>植田教育長</p>	<p>その他、事務局からありましたら、お願いします。</p>
<p>木村教育部次長兼 学校教育課長兼教</p>	<p>私からは、主に学校教育に関する新型コロナウイルス感染症に係る取組みの報告を2点させていただきます。</p>

育センター長	<p>まず、夏季休業日短縮に伴う熱中症対策のひとつとして、補正予算で可決していただいたミネラルウォーターの配布が7月21日より始まっています。</p> <p>合計12日間500mlペットボトルを一人1本ずつ、配布に課題はあるものの、学校からは水筒のお茶がなくなってしまうたり、水筒を忘れる児童生徒もいるので助かっていると報告を受けています。</p> <p>今後非接触型温度計、アルコール消毒液、WEBカメラシステム、児童生徒の個別パーテーションの配備に向けて取り組んでまいります。</p> <p>次に、児童生徒及び教員に感染者が出た時の対応についてです。</p> <p>現在市内において、児童生徒及び教職員には感染者は確認されていませんが、府内の状況に鑑み、いつ起きてもおかしくない状況にあります。</p> <p>もしこのような状況が発生したら、保健所からの助言を仰ぎ、おおむね3日間の臨時休業とします。</p> <p>その間、施設の消毒や濃厚接触者の特定など必要な準備を行い、再開については保健所の助言のもと、適切に判断することを学校とも共有しているところです。</p>
植田教育長	<p>確認、質問等ございましたら、お願いします。</p> <p>(「なし」の声)</p>
植田教育長	<p>それでは次に移ります。</p>
阪本教育部次長兼 青少年育成課長兼 主任	<p>社会教育施設の開館、開所についてお知らせいたします。</p> <p>先月の定例会での説明以降、大きな変更はございません。</p> <p>5月25日に新型インフルエンザ等緊急事態解除宣言では、新しい生活様式の定着を前提としつつ、段階的に社会経済活動のレベルを引き上げていくことと示されていることから、7月31日までは各施設定員の1/2程度、市民総合センター市民ホールは1/4程度、185名としております。</p> <p>8月1日以降の対応につきまして、定員の1/2程度を継続することとしておりますが、先週くらいからの大阪府下の感染の状況に鑑み、市民ホールの利用の緩和に関しては、来週の感染症対策会議で決定することとしております。</p>
植田教育長	<p>確認、質問等ございましたら、お願いします。</p> <p>(「なし」の声)</p>
植田教育長	<p>その他、事務局からございますか。</p>

植田教育長	<p>(「なし」の声)</p> <p>それでは、本日予定の案件の審議は、すべて終了しました。 これをもちまして、定例会を閉会いたします。</p>
-------	--

上記会議の顛末を記載し、その相違ないことを証するためここに署名する。

令和2年10月28日

四 條 畷 市 教 育 長 植 田 篤 司

四條畷市教育委員会教育委員 佃 千 春